

令和4年度  
久留米市在宅介護実態調査  
報告書

令和5年3月

久留米市



# 目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査設計及び回収結果	1
3. 調査結果の見方	1
第2章 調査結果	2
1. 基本属性	2
(1) 調査票の記入者	2
(2) 要介護者の性別	2
(3) 要介護者の年齢	2
(4) 要介護度	3
2. 対象者本人の介護について	4
(1) 世帯類型	4
(2) 家族・親族からの介護の頻度	5
(3) 主な介護者	6
(4) 主な介護者の性別	7
(5) 主な介護者の年齢	9
(6) 主な介護者が行っている介護	10
(7) 介護を理由として仕事を辞めた家族・親族の有無	12
(8) 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況	14
(9) 利用したいが、現在利用できていない介護保険以外の支援・サービス	15
(10) 支援・サービスを利用していない理由	17
(11) 今後の在宅生活の継続に必要な支援・サービス	19
(12) 要支援・要介護認定を受ける以前の活動	21
(13) 要支援・要介護の認定を受ける以前の活動の継続状況	23
(14) 活動の再開意向	23
(15) 施設等への入所・入居の検討状況	24
(16) 現在抱えている傷病	26
(17) 住宅改修、福祉用具貸与、購入以外の介護保険サービス利用状況	28
(18) 介護保険サービスを利用していない理由	29
(19) 行政が力を入れていくべきこと	31
(20) 現在の生活について	33
3. 主な介護者の就労と今後の介護について	42
(1) 主な介護者の現在の勤務形態	42
(2) 働き方の調整等の有無	44
(3) 仕事と介護の両立に効果があると思う勤務先からの支援	46
(4) 今後の介護継続意向	48
(5) 主な介護者が不安に感じる介護	50
(6) 訪問診療の利用状況	52
(7) 訪問診療を利用していない理由	52
(8) コロナ禍の生活で心配なこと	53

(9) 災害が起きた場合の避難方法.....	55
(10) 「避難行動要支援者名簿」の登録状況.....	57
(11) 「避難行動要支援者名簿」への登録希望.....	59

<b>第3章 調査結果の考察.....</b>	<b>61</b>
-------------------------	-----------

# 第1章 調査の概要

## 1. 調査の目的

令和5年度に予定している高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画策定の基礎資料として、「高齢者の適切な在宅生活の継続」と「介護者（ご家族等）の就労の継続」の実現（いわゆる介護離職ゼロ）等を検討することを目的とする。

## 2. 調査設計及び回収結果

調査対象と標本数	在宅で生活する要支援・要介護認定者のうち、更新申請または変更申請に伴い認定調査を受ける（受けた）方 ※新型コロナウイルスの特例による更新は除く
調査方法	訪問による聞き取り
有効回収数	281件
調査期間	令和4年12月～令和5年3月

## 3. 調査結果の見方

○回答は、原則として各質問の調査数を基数（n）とした百分率（%）で表し、小数第2位を四捨五入している。このため、百分率の合計が100%にならない場合がある。また、2つ以上の回答ができる複数回答の質問では、回答比率の合計が100%を超える場合がある。

○クロス集計の表側に使用している「性別」「年齢別」「要介護度別」等の基本属性では、副問（サブクエスト）等の回答者が限定される質問もあるため、図表中の表側項目の調査数を合計しても、必ずしも調査の有効回収数にならない場合がある。

○クロス集計等において、基数（n）となる調査数が少数となる場合は参考までに数値を見る程度に留め、結果の利用には注意を要する。

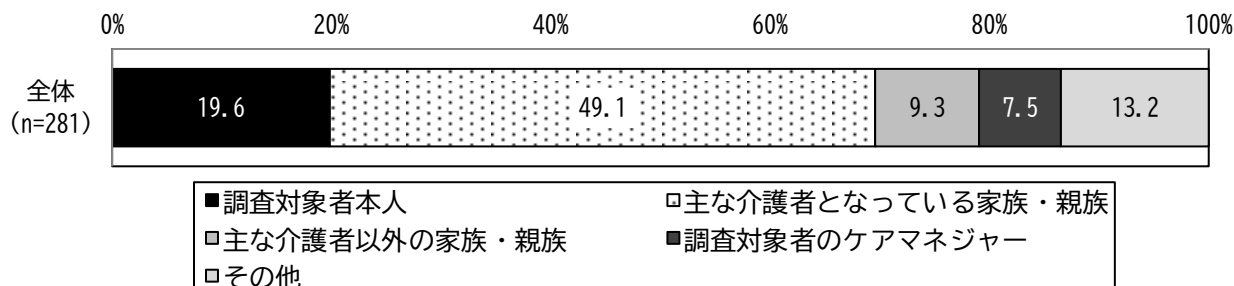
○本文または図表中の質問文及び回答選択肢については、コンピュータ入力の都合上、省略して表記している場合があるため、詳細は「調査票」を参照のこと。

## 第2章 調査結果

### 1. 基本属性

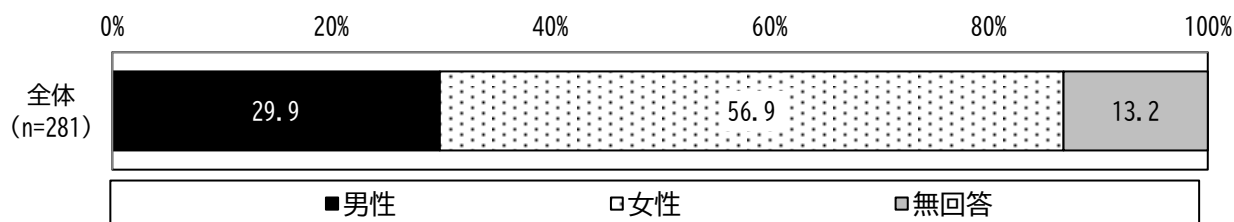
#### (1) 調査票の記入者

図表 - 1



#### (2) 要介護者の性別

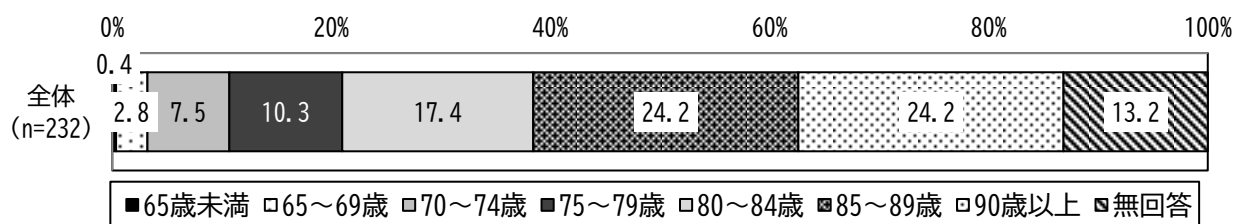
図表 - 2



要介護者の性別は、「男性」29.9%、「女性」56.9%と、女性の割合が高い。

#### (3) 要介護者の年齢

図表 - 3

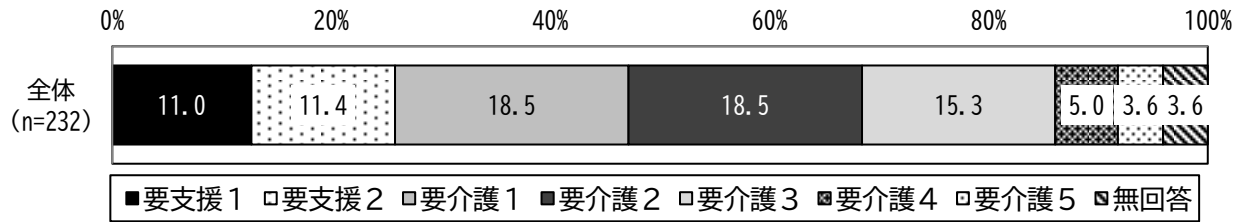


平均年齢 84.4 歳

年齢をみると、「85～89歳」、「90歳以上」(24.2%)が最も多く、次いで「80～84歳」(17.4%)となっている。また、平均年齢は84.4歳である。

(4) 要介護度

図表 - 4

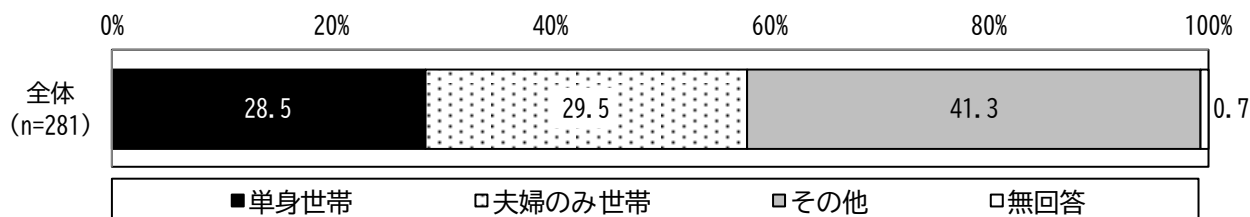


要介護度をみると、「要介護1」、「要介護2」(18.5%)が最も多く、次いで「要介護3」(15.3%)の割合が高い。

## 2. 対象者本人の介護について

### (1) 世帯類型

図表 - 5



世帯類型では、「その他」(41.3%)、「夫婦のみ世帯」(29.5%)、「単身世帯」(28.5%)の順となっている。

性別にみると、「夫婦のみ世帯」は男性の割合が高く、「単身世帯」は女性の割合が高い。

年齢別にみると、80～84歳では「単身世帯」の割合が高く、80～84歳以外の年齢層では「その他」の割合が高くなっている。

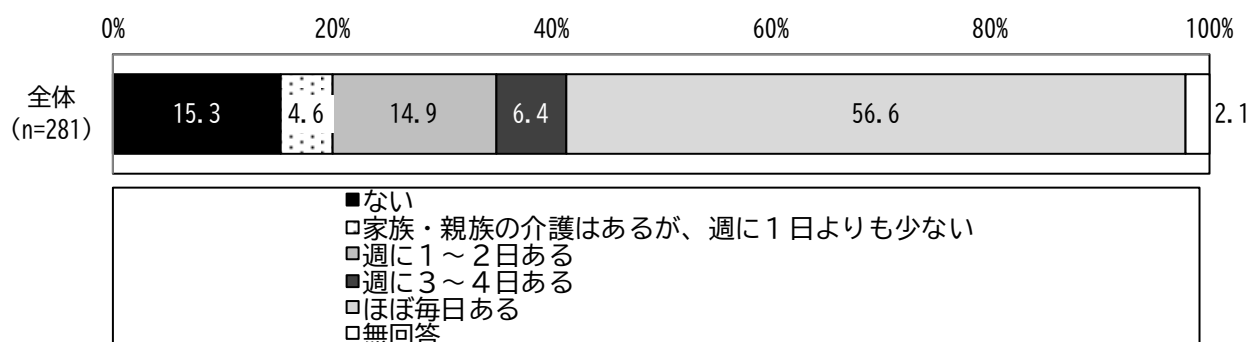
図表 - 6 性別、年齢別、要介護度別 世帯類型(%)

		調査数 「人」	単身世帯	夫婦のみ世帯	その他	無回答
全体		281	28.5	29.5	41.3	0.7
性別	男性	84	23.8	40.5	35.7	-
	女性	160	31.9	20.6	46.3	1.3
	無回答	37	24.3	43.2	32.4	-
年齢別	65歳未満	1	-	100.0	-	-
	65～69歳	8	-	25.0	75.0	-
	70～74歳	21	28.6	23.8	47.6	-
	75～79歳	29	24.1	37.9	37.9	-
	80～84歳	49	36.7	30.6	32.7	-
	85～89歳	68	19.1	32.4	47.1	1.5
	90歳以上	68	39.7	16.2	42.6	1.5
	無回答	37	24.3	43.2	32.4	-
要介護度別	要支援1	31	38.7	32.3	29.0	-
	要支援2	32	46.9	18.8	31.3	3.1
	要介護1	52	28.8	26.9	42.3	1.9
	要介護2	52	28.8	21.2	50.0	-
	要介護3	43	16.3	34.9	48.8	-
	要介護4	14	21.4	14.3	64.3	-
	要介護5	10	20.0	50.0	30.0	-
	無回答	10	20.0	40.0	40.0	-



(2) 家族・親族からの介護の頻度

図表 - 7



家族・親族からの介護の頻度では、「ほぼ毎日ある」(56.6%)が最も多く、次いで「ない」(15.3%)、「週に1～2日ある」(14.9%)、「週に3～4日ある」(6.4%)、「家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない」(4.6%)、となっている。

性別にみると、特に大きな差はみられない。

年齢別にみると、70～74歳では、他に比べ「ない」の割合が高くなっている。

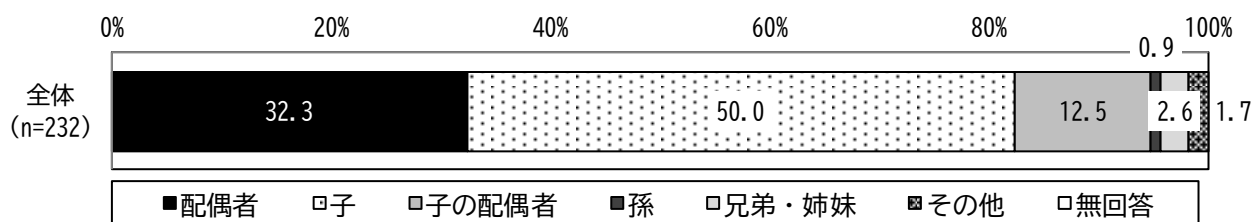
要介護度別にみると、要介護1から要介護5において、「ほぼ毎日ある」の割合が高くなっている。

図表 - 8 性別、年齢別、要介護度別 家族・親族からの介護の頻度(%)

		調査数「人」	ない	は家族より少ない	週に1～2日ある	週に3～4日ある	ほぼ毎日ある	無回答
全体		281	15.3	4.6	14.9	6.4	56.6	2.1
性別	男性	84	15.5	2.4	14.3	6.0	60.7	1.2
	女性	160	14.4	5.6	16.3	5.6	55.0	3.1
	無回答	37	18.9	5.4	10.8	10.8	54.1	-
年齢別	65歳未満	1	-	-	-	-	100.0	-
	65～69歳	8	12.5	-	-	12.5	75.0	-
	70～74歳	21	23.8	9.5	4.8	-	61.9	-
	75～79歳	29	17.2	10.3	10.3	13.8	48.3	-
	80～84歳	49	18.4	2.0	18.4	4.1	53.1	4.1
	85～89歳	68	11.8	4.4	19.1	1.5	60.3	2.9
	90歳以上	68	11.8	2.9	17.6	8.8	55.9	2.9
	無回答	37	18.9	5.4	10.8	10.8	54.1	-
要介護度別	要支援1	31	22.6	3.2	35.5	6.5	25.8	6.5
	要支援2	32	37.5	9.4	18.8	9.4	25.0	-
	要介護1	52	11.5	1.9	19.2	1.9	59.6	5.8
	要介護2	52	9.6	3.8	17.3	9.6	59.6	-
	要介護3	43	4.7	4.7	4.7	2.3	83.7	-
	要介護4	14	14.3	-	-	7.1	78.6	-
	要介護5	10	20.0	10.0	-	10.0	50.0	10.0
	無回答	10	-	10.0	-	-	90.0	-

### (3) 主な介護者

図表 - 9



主な介護者では、「子」(50.0%)が最も多く、次いで「配偶者」(32.3%)、「子の配偶者」(12.5%)、「兄弟・姉妹」(2.6%)、「その他」(1.7%)、「孫」(0.9%)となっている。

性別にみると、男性では「配偶者」(60.0%)が最も多く、女性では「子」(62.9%)が最も多い。

年齢別にみると、「子」では年齢とともに高くなる傾向にあり、90歳以上では(70.7%)を占める。

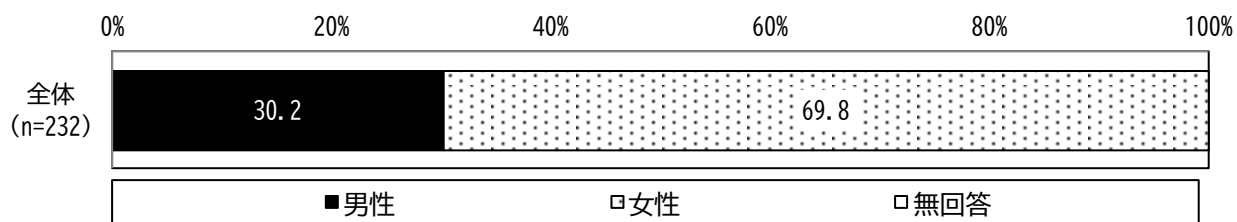
要介護度別にみると、要介護5では「配偶者」(57.1%)が最も多く、要支援1から要介護4では、約半数が「子」となっている。

図表 - 10 性別、年齢別、要介護度別 主な介護者(%)

		調査数「人」	配偶者	子	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他	無回答
全体		232	32.3	50.0	12.5	0.9	2.6	1.7	-
性別	男性	70	60.0	31.4	5.7	1.4	-	1.4	-
	女性	132	14.4	62.9	16.7	0.8	3.8	1.5	-
	無回答	30	46.7	36.7	10.0	-	3.3	3.3	-
年齢別	65歳未満	1	100.0	-	-	-	-	-	-
	65～69歳	7	28.6	42.9	-	-	28.6	-	-
	70～74歳	16	50.0	37.5	6.3	-	-	6.3	-
	75～79歳	24	41.7	37.5	16.7	-	4.2	-	-
	80～84歳	38	42.1	47.4	7.9	-	-	2.6	-
	85～89歳	58	34.5	48.3	10.3	1.7	3.4	1.7	-
	90歳以上	58	6.9	70.7	20.7	1.7	-	-	-
無回答	30	46.7	36.7	10.0	-	3.3	3.3	-	
要介護度別	要支援1	22	22.7	45.5	22.7	4.5	4.5	-	-
	要支援2	20	20.0	60.0	15.0	-	-	5.0	-
	要介護1	43	32.6	48.8	14.0	-	4.7	-	-
	要介護2	47	25.5	57.4	12.8	2.1	-	2.1	-
	要介護3	41	36.6	56.1	4.9	-	-	2.4	-
	要介護4	12	33.3	50.0	16.7	-	-	-	-
	要介護5	7	57.1	28.6	-	-	14.3	-	-
無回答	10	30.0	40.0	20.0	-	10.0	-	-	

#### (4) 主な介護者の性別

図表 - 11



主な介護者の性別では、「女性」が 69.8%、「男性」が 30.2%となっている。

要介護者の性別にみると、男性（90.0%）、女性（58.3%）で、ともに「女性」が主な介護者の割合が高い。

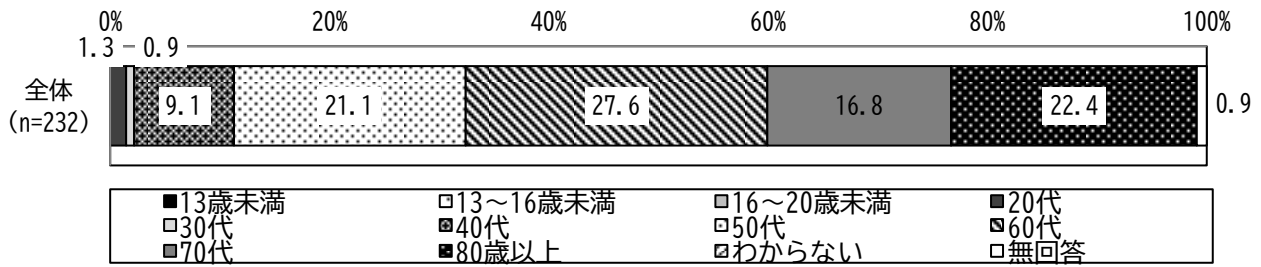
年齢別にみると、いずれも「女性」が主な介護者という回答が多く、65～69歳、70～74歳、75～79歳では約8割と、他に比べ高い割合を占める。

図表 - 12 要介護者の性別、年齢別、要介護度別、主な介護者別  
 主な介護者の年齢別 主な介護者の性別(%)

		調査数 「人」	男性	女性	無回答
全体		232	30.2	69.8	-
性別	男性	70	10.0	90.0	-
	女性	132	41.7	58.3	-
	無回答	30	26.7	73.3	-
年齢別	65歳未満	1	100.0	-	-
	65～69歳	7	14.3	85.7	-
	70～74歳	16	18.8	81.3	-
	75～79歳	24	20.8	79.2	-
	80～84歳	38	42.1	57.9	-
	85～89歳	58	29.3	70.7	-
	90歳以上	58	32.8	67.2	-
	無回答	30	26.7	73.3	-
要介護度別	要支援1	22	22.7	77.3	-
	要支援2	20	30.0	70.0	-
	要介護1	43	39.5	60.5	-
	要介護2	47	27.7	72.3	-
	要介護3	41	36.6	63.4	-
	要介護4	12	8.3	91.7	-
	要介護5	7	14.3	85.7	-
	無回答	10	40.0	60.0	-
主な介護者別	配偶者	75	32.0	68.0	-
	子	116	32.8	67.2	-
	子の配偶者	29	6.9	93.1	-
	孫	2	50.0	50.0	-
	兄弟・姉妹	6	50.0	50.0	-
	その他	4	50.0	50.0	-
主な介護者の年齢別	無回答	0	-	-	-
	20歳未満	0	-	-	-
	20代	3	-	100.0	-
	30代	2	-	100.0	-
	40代	21	23.8	76.2	-
	50代	49	20.4	79.6	-
	60代	64	31.3	68.8	-
	70代	39	30.8	69.2	-
	80歳以上	52	40.4	59.6	-
	わからない	0	-	-	-
無回答	2	100.0	-	-	

(5) 主な介護者の年齢

図表 - 13



主な介護者の年齢では、「60代」(27.6%)が最も多く、次いで「80歳以上」(22.4%)、「50代」(21.1%)、「70代」(16.8%)、「40代」(9.1%)となっている。

性別にみると、男性では70代以上の年齢層で女性に比べ割合が高く、女性では「50代」「60代」の割合が高い。

要介護度別にみると、要支援1では「40代」の割合が高く、要支援2では「50代」、要介護1では「60代」の割合が高くなっている。

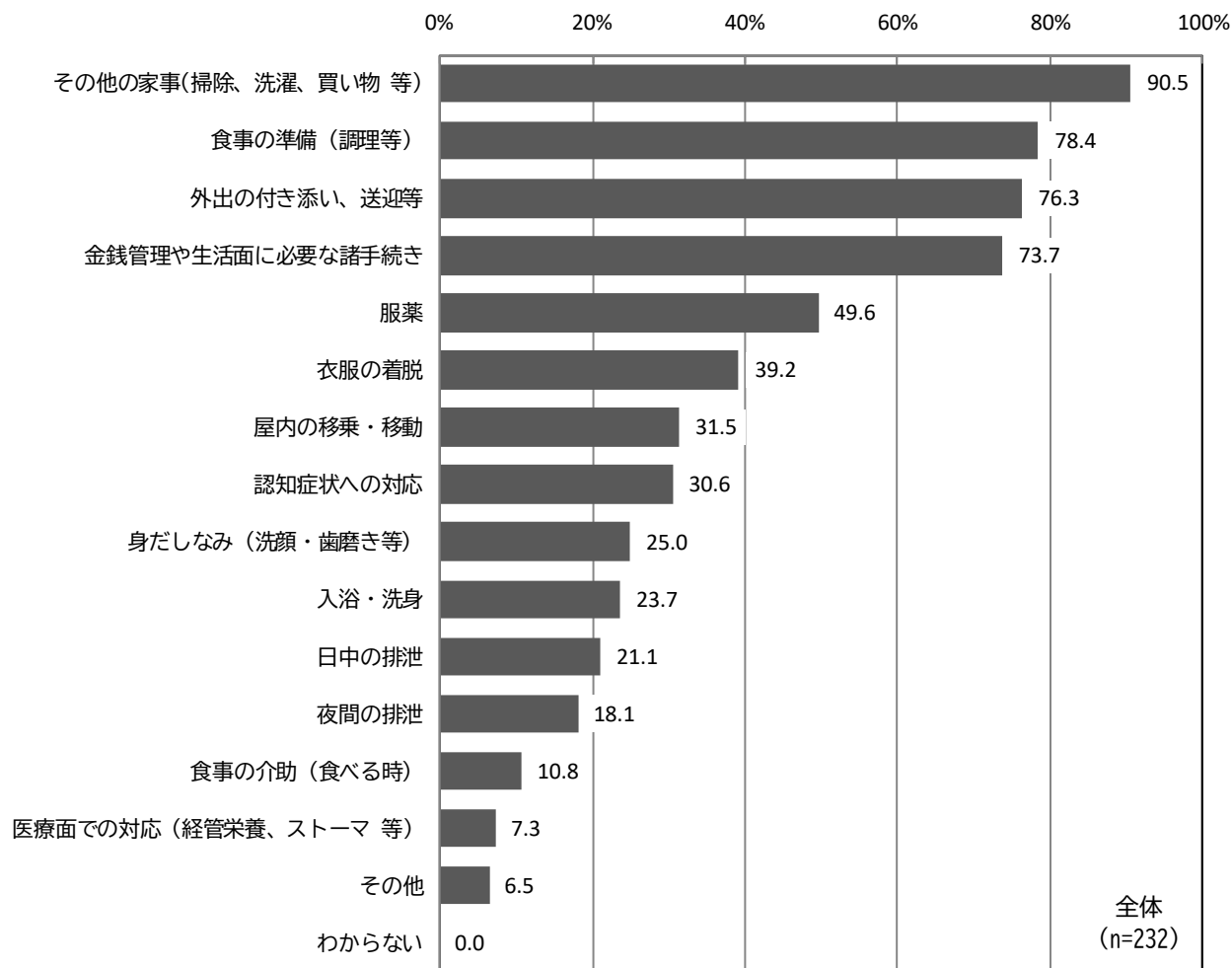
主な介護者別にみると、配偶者では「80歳以上」(54.7%)、次いで「70代」(36.0%)の割合が高く、子、子の配偶者では「60代」、次いで「50代」の割合が高い。

図表 - 14 性別、年齢別、要介護度別、主な介護者別 主な介護者の年齢(%)

	調査数「人」	主な介護者の年齢(%)												
		13歳未満	13~16歳未満	16~20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	わからない	無回答	
全体	232	-	-	-	1.3	0.9	9.1	21.1	27.6	16.8	22.4	-	0.9	
性別	男性	70	-	-	-	1.4	-	2.9	17.1	20.0	25.7	31.4	-	1.4
	女性	132	-	-	-	0.8	0.8	12.1	25.8	32.6	10.6	16.7	-	0.8
	無回答	30	-	-	-	3.3	3.3	10.0	10.0	23.3	23.3	26.7	-	-
年齢別	65歳未満	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
	65~69歳	7	-	-	-	-	-	42.9	-	57.1	-	-	-	-
	70~74歳	16	-	-	-	6.3	-	25.0	12.5	12.5	43.8	-	-	-
	75~79歳	24	-	-	-	-	-	20.8	29.2	4.2	41.7	-	-	4.2
	80~84歳	38	-	-	-	-	-	13.2	39.5	2.6	7.9	36.8	-	-
	85~89歳	58	-	-	-	1.7	1.7	1.7	25.9	29.3	3.4	36.2	-	-
	90歳以上	58	-	-	-	-	-	-	12.1	53.4	17.2	15.5	-	1.7
	無回答	30	-	-	-	3.3	3.3	10.0	10.0	23.3	23.3	26.7	-	-
要介護度別	要支援1	22	-	-	-	-	-	31.8	13.6	22.7	9.1	22.7	-	-
	要支援2	20	-	-	-	-	-	10.0	35.0	25.0	5.0	25.0	-	-
	要介護1	43	-	-	-	-	-	9.3	16.3	37.2	9.3	27.9	-	-
	要介護2	47	-	-	-	2.1	-	6.4	29.8	27.7	19.1	10.6	-	4.3
	要介護3	41	-	-	-	2.4	2.4	-	19.5	26.8	19.5	29.3	-	-
	要介護4	12	-	-	-	-	-	-	16.7	33.3	25.0	16.7	8.3	-
	要介護5	7	-	-	-	-	-	-	14.3	28.6	42.9	14.3	-	-
	無回答	10	-	-	-	-	-	-	20.0	20.0	30.0	30.0	-	-
主な介護者別	配偶者	75	-	-	-	-	-	-	8.0	36.0	54.7	-	1.3	
	子	116	-	-	-	1.7	1.7	14.7	32.8	35.3	7.8	5.2	-	0.9
	子の配偶者	29	-	-	-	-	-	-	13.8	34.5	44.8	6.9	-	-
	孫	2	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	50.0	-	-
	兄弟・姉妹	6	-	-	-	-	-	-	-	33.3	16.7	50.0	-	-
	その他	4	-	-	-	-	-	-	-	25.0	50.0	-	25.0	-
無回答	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(6) 主な介護者が行っている介護

図表 - 15



主な介護者が行っている介護では、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(90.5%)が最も多く、次いで「食事の準備(調理等)」(78.4%)、「外出の付き添い、送迎等」(76.3%)、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(73.7%)、「服薬」(49.6%)となっている。

主な介護者が行っている介護を性別にみると、男性では排泄、食事の介助、身だしなみ、衣服の着脱、食事の準備、金銭管理や生活面に必要な諸手続きなどで女性に比べ割合が高く、女性では認知症状への対応で割合が高い。

年齢別にみると、排せつでは年齢が高くなるにつれ、割合が高くなっている。

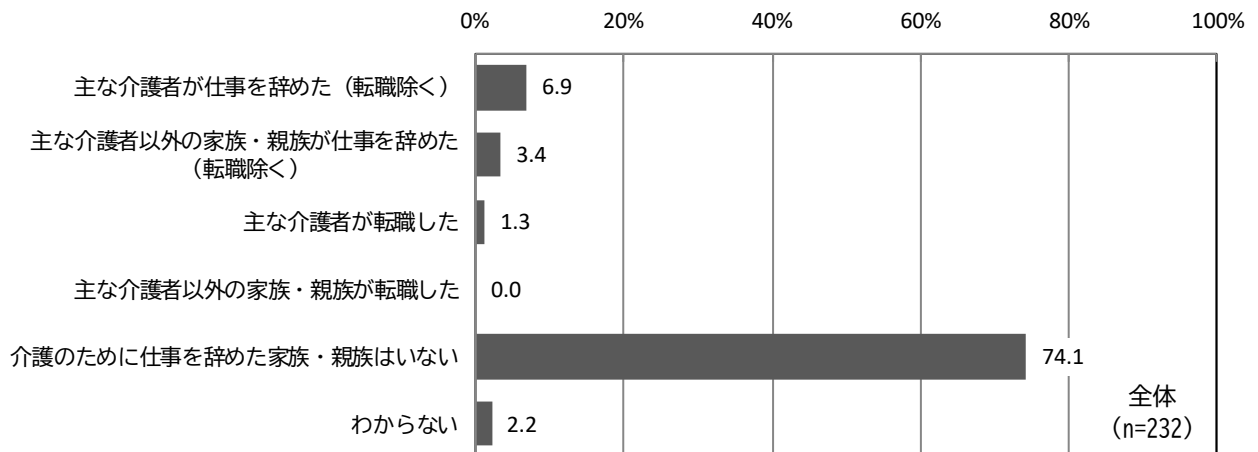
要介護度別にみると、重度になるほど各項目とも割合が高くなる傾向にあるが、日中、夜間の排泄、食事の介助（食べる時）、身だしなみ（洗顔・歯磨き等）、屋内の移乗・移動、服薬、医療面での対応などでは要介護3以上でその傾向が強い。

図表 - 16 性別、年齢別 主な介護者が行っている介護(%)

	調査数「人」	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	食事の準備（調理等）	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	わからない	
全体	232	21.1	18.1	10.8	23.7	25.0	39.2	31.5	76.3	49.6	30.6	7.3	78.4	90.5	73.7	6.5	-	
性別	男性	70	30.0	24.3	15.7	25.7	31.4	50.0	30.0	77.1	54.3	21.4	5.7	87.1	90.0	84.3	4.3	-
	女性	132	18.2	15.2	9.1	24.2	22.0	35.6	31.8	75.0	48.5	34.1	6.8	73.5	89.4	66.7	7.6	-
	無回答	30	13.3	16.7	6.7	16.7	23.3	30.0	33.3	80.0	43.3	36.7	13.3	80.0	96.7	80.0	6.7	-
年齢別	65歳未満	1	-	-	100.0	100.0	-	100.0	100.0	100.0	-	-	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-
	65～69歳	7	42.9	42.9	14.3	42.9	57.1	57.1	85.7	57.1	14.3	14.3	71.4	71.4	71.4	28.6	-	
	70～74歳	16	6.3	6.3	18.8	31.3	25.0	37.5	18.8	56.3	50.0	6.3	6.3	81.3	81.3	75.0	18.8	-
	75～79歳	24	16.7	16.7	20.8	33.3	20.8	37.5	33.3	75.0	37.5	16.7	12.5	79.2	79.2	58.3	8.3	-
	80～84歳	38	23.7	15.8	10.5	21.1	21.1	31.6	34.2	84.2	44.7	34.2	5.3	68.4	86.8	63.2	2.6	-
	85～89歳	58	20.7	20.7	5.2	22.4	25.9	36.2	20.7	75.9	56.9	43.1	5.2	84.5	94.8	81.0	1.7	-
	90歳以上	58	27.6	19.0	10.3	20.7	25.9	-	37.9	74.1	51.7	27.6	5.2	77.6	94.8	75.9	5.2	-
	無回答	30	13.3	16.7	6.7	16.7	23.3	-	33.3	80.0	43.3	36.7	13.3	80.0	96.7	80.0	6.7	-
要介護度別	要支援1	22	-	-	-	4.5	4.5	-	-	77.3	4.5	13.6	-	50.0	77.3	31.8	-	-
	要支援2	20	-	-	-	5.0	5.0	10.0	-	70.0	10.0	5.0	-	50.0	85.0	30.0	10.0	-
	要介護1	43	-	2.3	4.7	23.3	18.6	20.9	11.6	65.1	53.5	34.9	2.3	81.4	86.0	72.1	7.0	-
	要介護2	47	10.6	12.8	8.5	29.8	14.9	46.8	29.8	78.7	57.4	29.8	6.4	80.9	91.5	83.0	6.4	-
	要介護3	41	48.8	36.6	12.2	36.6	41.5	70.7	61.0	87.8	70.7	39.0	9.8	92.7	97.6	95.1	7.3	-
	要介護4	12	100.0	66.7	33.3	41.7	66.7	91.7	83.3	100.0	91.7	58.3	8.3	100.0	100.0	91.7	-	-
	要介護5	7	57.1	57.1	71.4	28.6	85.7	-	57.1	42.9	71.4	14.3	14.3	85.7	85.7	85.7	28.6	-
	無回答	10	40.0	30.0	30.0	20.0	30.0	-	50.0	60.0	40.0	30.0	30.0	80.0	90.0	80.0	-	-
主な介護者別	配偶者	75	29.3	28.0	16.0	29.3	34.7	50.7	41.3	76.0	60.0	32.0	9.3	92.0	93.3	84.0	8.0	-
	子	116	15.5	12.9	7.8	20.7	23.3	34.5	26.7	77.6	47.4	30.2	6.9	67.2	91.4	70.7	6.9	-
	子の配偶者	29	20.7	13.8	6.9	17.2	10.3	37.9	27.6	72.4	41.4	31.0	3.4	93.1	89.7	65.5	-	-
	孫	2	-	-	-	-	-	-	-	100.0	50.0	-	-	50.0	100.0	50.0	-	-
	兄弟・姉妹	6	33.3	33.3	33.3	50.0	33.3	33.3	50.0	50.0	33.3	16.7	-	66.7	66.7	50.0	16.7	-
	その他	4	25.0	-	-	25.0	-	-	-	100.0	-	-	25.0	75.0	50.0	75.0	-	-
無回答	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(7) 介護を理由として仕事を辞めた家族・親族の有無

図表 - 17



介護を理由として仕事を辞めた家族・親族の有無では、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」(74.1%)が最も多い。具体的には「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」(6.9%)が最も多く、次いで「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)」(3.4%)、「主な介護者が転職した」(1.3%)となっている。



性別では、男性に比べ女性で「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が高くなっている。

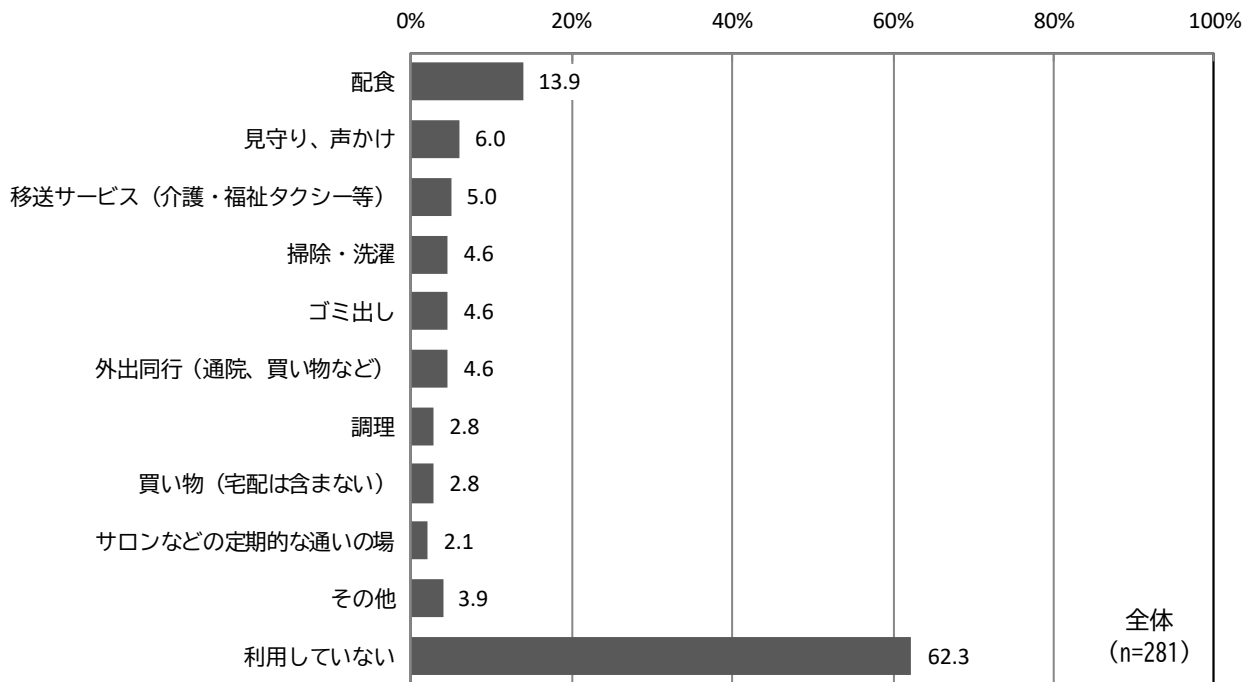
要介護度別にみると、要介護5から介護度が低くなるほど「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が高くなっている。

主な介護者別にみると、配偶者、子、子の配偶者で「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」の回答が1割弱程度みられた。

図表 - 18 性別、年齢別、要介護度別、主な介護者別、主な介護者の年齢別  
介護を理由として仕事を辞めた家族・親族の有無(%)

		調査数「人」	辞めた （転職除く）	主な 親族が 仕事を 辞めた （転職除く）	主な 介護者 が 転職 した	主な 親族 が 転職 した	辞めた 家族・ 親族 はいない	介護 のため に 仕事を 辞めた	わから ない
全体		232	6.9	3.4	1.3	-	74.1	2.2	
性別	男性	70	10.0	8.6	-	-	62.9	2.9	
	女性	132	5.3	0.8	1.5	-	81.8	0.8	
	無回答	30	6.7	3.3	3.3	-	66.7	6.7	
年齢別	65歳未満	1	-	-	-	-	100.0	-	
	65～69歳	7	14.3	-	14.3	-	71.4	-	
	70～74歳	16	6.3	6.3	-	-	81.3	-	
	75～79歳	24	12.5	8.3	-	-	66.7	-	
	80～84歳	38	5.3	-	-	-	81.6	2.6	
	85～89歳	58	3.4	3.4	1.7	-	74.1	-	
	90歳以上	58	8.6	3.4	-	-	74.1	-	
	無回答	30	6.7	3.3	3.3	-	66.7	-	
要介護度別	要支援1	22	-	-	-	-	90.9	4.5	
	要支援2	20	5.0	-	-	-	85.0	-	
	要介護1	43	7.0	4.7	-	-	79.1	-	
	要介護2	47	6.4	8.5	-	-	74.5	-	
	要介護3	41	9.8	2.4	-	-	73.2	-	
	要介護4	12	8.3	-	8.3	-	58.3	-	
	要介護5	7	14.3	-	14.3	-	42.9	-	
	無回答	10	10.0	-	-	-	60.0	-	
主な介護者別	配偶者	75	6.7	6.7	-	-	62.7	2.7	
	子	116	7.8	0.9	1.7	-	79.3	2.6	
	子の配偶者	29	3.4	6.9	-	-	82.8	-	
	孫	2	-	-	-	-	100.0	-	
	兄弟・姉妹	6	16.7	-	16.7	-	66.7	-	
	その他	4	-	-	-	-	75.0	-	
	無回答	0	-	-	-	-	-	-	
主な介護者の年齢別	20歳未満	0	-	-	-	-	-	-	
	20代	3	33.3	-	-	-	66.7	-	
	30代	2	-	-	50.0	-	50.0	-	
	40代	21	4.8	-	-	-	85.7	9.5	
	50代	49	4.1	4.1	2.0	-	77.6	-	
	60代	64	10.9	1.6	1.6	-	78.1	-	
	70代	39	5.1	7.7	-	-	64.1	5.1	
	80歳以上	52	3.8	3.8	-	-	73.1	1.9	
	わからない	0	-	-	-	-	-	-	
無回答	2	50.0	-	-	-	-	-		

(8) 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況

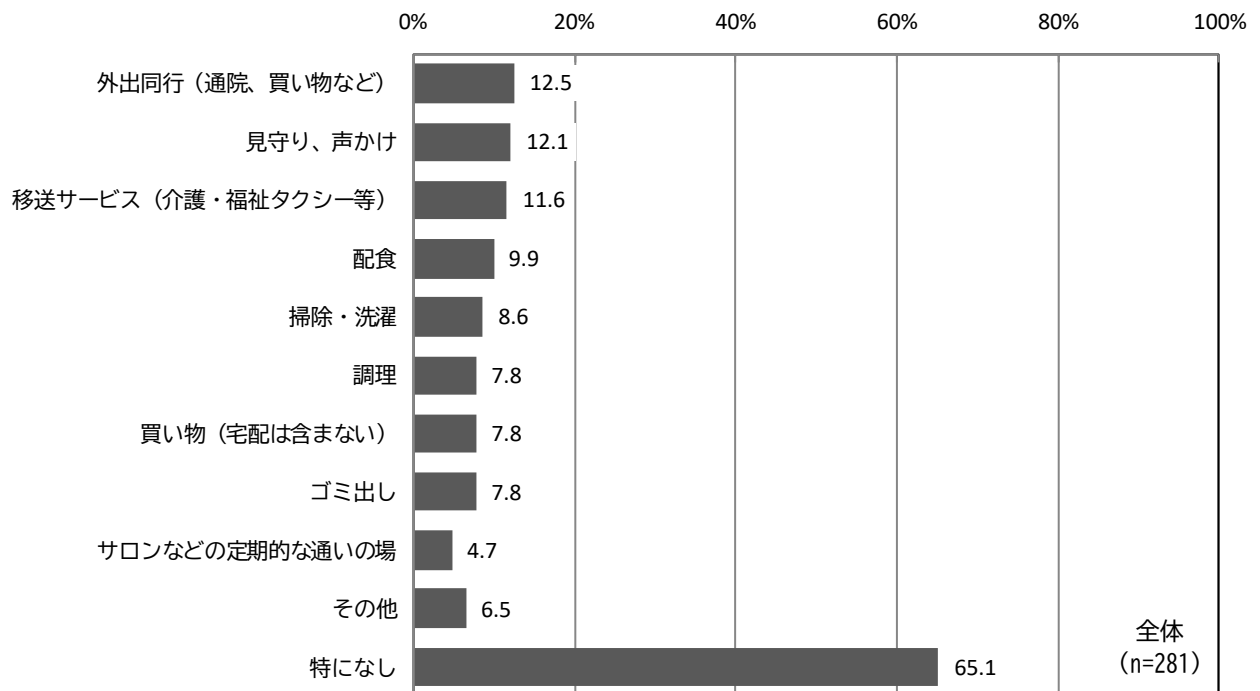


図表 - 19

介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況では、「配食」(13.9%)が最も多く、次いで「見守り、声かけ」(6.0%)、「移送サービス (介護・福祉タクシー等)」(5.0%)となっている。また、「利用していない」が62.3%となっている。

(9) 利用したいが、現在利用できていない介護保険以外の支援・サービス

図表 - 20



利用したいが、現在利用できていない支援・サービスでは、「外出同行(通院、買い物など)」(12.5%)が最も多く、次いで「見守り、声掛け」(12.1%)、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(11.6%)、「配食」(9.9%)となっている。また、「特になし」が65.1%となっている。

利用したいが、現在利用できていない支援・サービスについて性別にみると、男性では女性に比べ「特になし」(58.3%)が高く、女性では「配食」(8.1%)、「調理」(5.6%)、「掃除・洗濯」(7.5%)、「ゴミ出し」(7.5%)、「外出同行(通院、買い物など)」(10.0%)で男性に比べ割合が高くなっている。

年齢別にみると、80～84歳で「掃除・洗濯」、「ゴミ出し」(12.2%)、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(14.3%)、「見守り、声かけ」(18.4%)の割合が、他に比べ高い

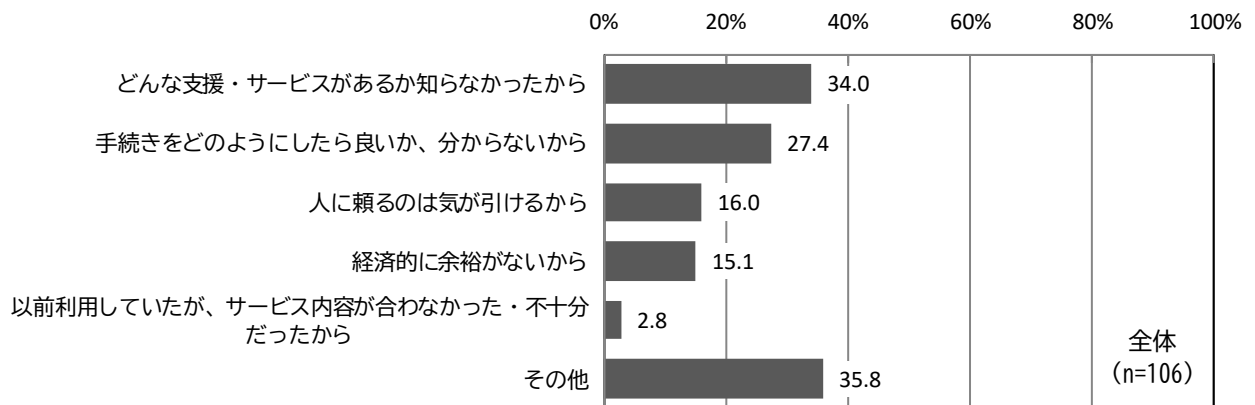
要介護度別にみると、要介護1、要介護3、要介護4で「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」の割合が高くなっている。

図表 - 21 性別、年齢別、要介護度別、主な介護者別、主な介護者の年齢別  
利用したいが、現在利用できていない支援・サービス(%)

		調査数「人」	配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行(通院、買い物など)	移送サービス(介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし
全体		281	8.2	6.4	7.1	6.4	6.4	10.3	9.6	10.0	3.9	5.3	53.7
性別	男性	84	6.0	4.8	6.0	6.0	4.8	9.5	10.7	10.7	4.8	6.0	58.3
	女性	160	8.1	5.6	7.5	5.0	7.5	10.0	10.0	10.6	4.4	6.3	51.9
	無回答	37	13.5	13.5	8.1	13.5	5.4	13.5	5.4	5.4	-	-	51.4
年齢別	65歳未満	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
	65～69歳	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12.5	87.5
	70～74歳	21	-	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	-	4.8	4.8	-	61.9
	75～79歳	29	6.9	6.9	3.4	3.4	-	6.9	3.4	3.4	3.4	17.2	51.7
	80～84歳	49	6.1	4.1	12.2	8.2	12.2	10.2	14.3	18.4	2.0	2.0	53.1
	85～89歳	68	14.7	8.8	7.4	5.9	7.4	13.2	10.3	8.8	7.4	2.9	57.4
	90歳以上	68	4.4	2.9	5.9	4.4	5.9	-	13.2	13.2	4.4	8.8	47.1
	無回答	37	13.5	13.5	8.1	13.5	5.4	-	5.4	5.4	-	-	51.4
要介護度別	要支援1	31	3.2	-	-	3.2	3.2	6.5	3.2	9.7	3.2	6.5	64.5
	要支援2	32	6.3	6.3	12.5	6.3	9.4	9.4	6.3	9.4	6.3	-	62.5
	要介護1	52	7.7	7.7	1.9	3.8	3.8	9.6	11.5	11.5	3.8	7.7	59.6
	要介護2	52	9.6	9.6	15.4	7.7	9.6	17.3	9.6	11.5	5.8	5.8	40.4
	要介護3	43	9.3	2.3	7.0	9.3	11.6	11.6	18.6	11.6	2.3	7.0	41.9
	要介護4	14	14.3	-	-	-	-	-	14.3	14.3	-	-	50.0
	要介護5	10	-	-	-	-	-	-	-	-	10.0	20.0	80.0
	無回答	10	-	10.0	10.0	-	-	-	10.0	10.0	10.0	10.0	70.0
主な介護者別	配偶者	75	8.0	5.3	4.0	4.0	4.0	5.3	10.7	4.0	2.7	5.3	60.0
	子	116	10.3	9.5	11.2	7.8	6.9	13.8	10.3	12.9	6.0	4.3	45.7
	子の配偶者	29	6.9	-	-	-	-	-	3.4	6.9	-	13.8	65.5
	孫	2	50.0	50.0	50.0	50.0	-	50.0	-	50.0	-	50.0	-
	兄弟・姉妹	6	-	-	-	-	-	16.7	-	-	-	-	83.3
	その他	4	-	-	-	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	-	-	25.0
	無回答	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
主な介護者の年齢別	20歳未満	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20代	3	33.3	33.3	33.3	33.3	-	33.3	-	66.7	33.3	-	33.3
	30代	2	50.0	-	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-	50.0
	40代	21	9.5	14.3	9.5	9.5	-	9.5	-	9.5	-	4.8	47.6
	50代	49	10.2	8.2	10.2	6.1	6.1	12.2	12.2	14.3	2.0	6.1	46.9
	60代	64	6.3	6.3	7.8	3.1	9.4	7.8	10.9	9.4	4.7	4.7	56.3
	70代	39	7.7	5.1	2.6	5.1	2.6	7.7	5.1	-	5.1	12.8	51.3
	80歳以上	52	9.6	1.9	5.8	5.8	3.8	9.6	11.5	9.6	3.8	3.8	61.5
	わからない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	2	-	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-

(10) 支援・サービスを利用していない理由

図表 -22



支援・サービスを利用していない理由では、「どんな支援・サービスがあるか知らなかったから」(34.0%) が最も多く、次いで「手続きをどのようにしたら良いか、分からないから」(27.4%)、「人に頼るのは気が引けるから」(16.0%) となっている。

支援・サービスを利用していない理由を年齢別にみると、75～79歳で「どんな支援・サービスがあるか知らなかったから」が4割以上みられる。

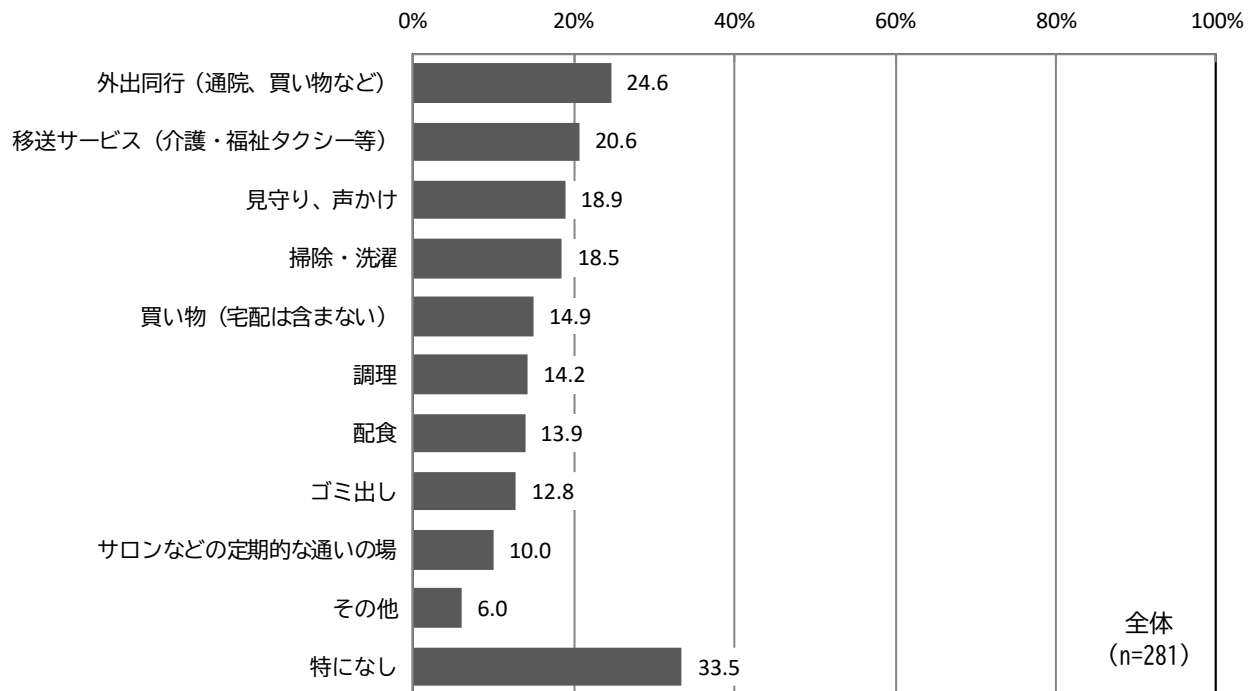
要介護度別にみると、要介護1、要介護3、要介護4で「どんな支援・サービスがあるか知らなかったから」、「手続きをどのようにしたら良いか、わからないから」が3割を超えている。

図表 - 23 性別、年齢別、要介護度別、介護の頻度別、主な介護者別  
支援・サービスを利用していない理由(%)

		調査数「人」	どんな支援か知らなかったから	手続きをどのようになしたから	以前利用してなかったが、サービス	人に頼るのは気が引けるから	経済的に余裕がないから	その他
全体		106	34.0	27.4	2.8	16.0	15.1	35.8
性別	男性	28	21.4	17.9	3.6	10.7	10.7	50.0
	女性	64	37.5	28.1	1.6	17.2	15.6	32.8
	無回答	14	42.9	42.9	7.1	21.4	21.4	21.4
年齢別	65歳未満	1	-	-	-	-	-	100.0
	65～69歳	1	-	100.0	-	-	-	-
	70～74歳	5	20.0	-	-	60.0	20.0	20.0
	75～79歳	12	41.7	16.7	-	8.3	25.0	41.7
	80～84歳	21	23.8	28.6	-	4.8	14.3	47.6
	85～89歳	23	39.1	30.4	8.7	13.0	13.0	34.8
	90歳以上	29	34.5	24.1	-	20.7	10.3	-
	無回答	14	42.9	42.9	7.1	21.4	21.4	-
要介護度別	要支援1	11	27.3	27.3	-	-	9.1	45.5
	要支援2	9	44.4	11.1	11.1	11.1	11.1	22.2
	要介護1	18	38.9	33.3	-	22.2	-	33.3
	要介護2	26	23.1	19.2	3.8	15.4	23.1	38.5
	要介護3	19	36.8	31.6	-	15.8	26.3	36.8
	要介護4	5	40.0	40.0	-	20.0	-	40.0
	要介護5	2	-	-	-	-	-	-
	無回答	2	50.0	-	-	50.0	-	-
介護の頻度別	ない	14	42.9	14.3	7.1	7.1	7.1	35.7
	週に1日よりも少ない	7	42.9	71.4	-	14.3	42.9	-
	週に1～2日ある	20	30.0	15.0	10.0	10.0	15.0	35.0
	週に3～4日ある	10	30.0	30.0	-	30.0	20.0	20.0
	ほぼ毎日ある	52	32.7	26.9	-	19.2	13.5	46.2
	無回答	3	33.3	66.7	-	-	-	-
主な介護者別	配偶者	22	40.9	27.3	4.5	13.6	9.1	40.9
	子	53	32.1	30.2	1.9	20.8	18.9	30.2
	子の配偶者	9	22.2	22.2	-	22.2	-	66.7
	孫	2	-	-	-	-	-	100.0
	兄弟・姉妹	1	-	-	-	-	100.0	-
	その他	2	50.0	50.0	-	-	100.0	-
	無回答	0	-	-	-	-	-	-

(11) 今後の在宅生活の継続に必要な支援・サービス

図表 - 24



今後の在宅生活の継続に必要な支援・サービスでは、「外出同行 (通院、買い物など)」(24.6%) が最も多く、次いで「移送サービス (介護・福祉タクシー等)」(20.6%)、「見守り、声かけ」(18.9%)、「掃除・洗濯」(18.5%)、「買い物 (宅配は含まない)」(14.9%)となっている。また、「特になし」が33.5%となっている。

今後の在宅生活の継続に必要な支援・サービスを年齢別にみると、90歳以上で「見守り、声かけ」(27.9%)、「サロンなどの定期的な通いの場」(14.7%)の割合が、他に比べて高い。

今後の介護継続意向別にみると、「続けていくのは、やや難しい」では「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(60.0%)が最も多く、「続けていくのは、かなり難しい」では「見守り、声掛け」(37.5%)が最も多くなっている。

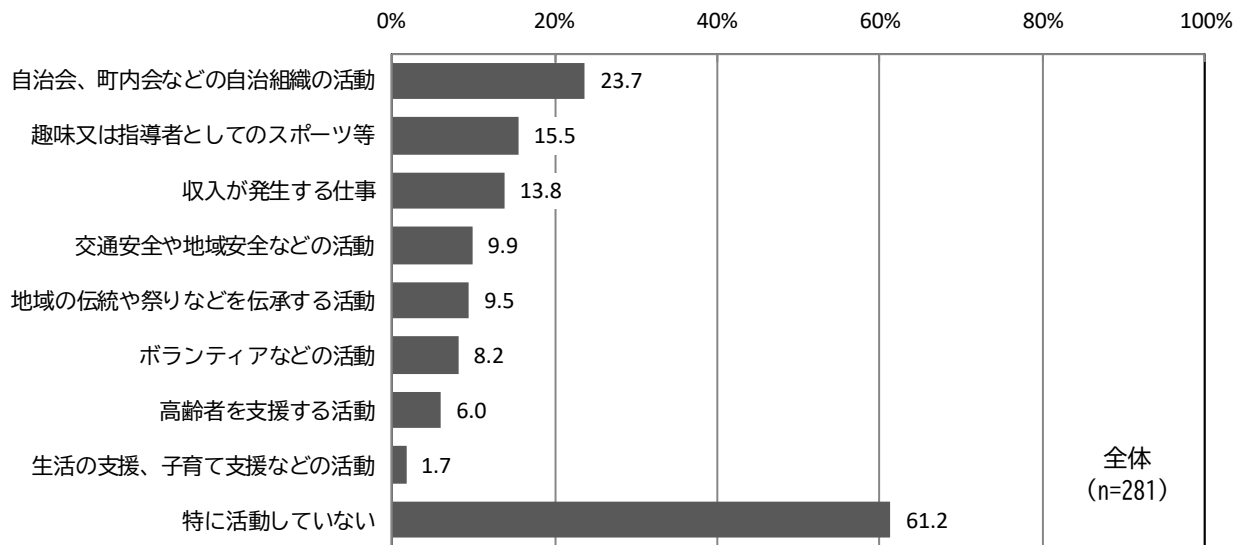
図表 - 25 性別、年齢別、要介護度別、主な介護者別、主な介護者の年齢別  
今後の介護継続意向別 今後の在宅生活の継続に必要な支援・サービス(%)

	調査数〔人〕	配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行(通院、買い物など)	移送サービス(介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	
													全体
全体	281	13.9	14.2	18.5	14.9	12.8	24.6	20.6	18.9	10.0	6.0	33.5	
性別	男性	84	15.5	13.1	17.9	13.1	13.1	23.8	25.0	17.9	6.0	4.8	35.7
	女性	160	10.0	15.0	16.9	14.4	12.5	23.8	18.1	18.8	11.9	8.1	33.8
	無回答	37	27.0	13.5	27.0	21.6	13.5	29.7	21.6	21.6	10.8	-	27.0
年齢別	65歳未満	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	65～69歳	8	-	12.5	-	-	-	37.5	-	-	12.5	-	37.5
	70～74歳	21	-	9.5	19.0	23.8	19.0	33.3	14.3	4.8	-	-	33.3
	75～79歳	29	10.3	10.3	10.3	10.3	-	17.2	20.7	13.8	13.8	13.8	41.4
	80～84歳	49	10.2	18.4	24.5	16.3	16.3	26.5	12.2	20.4	8.2	2.0	30.6
	85～89歳	68	17.6	16.2	14.7	11.8	10.3	25.0	23.5	16.2	8.8	8.8	35.3
	90歳以上	68	13.2	13.2	19.1	14.7	17.6	-	23.5	27.9	14.7	7.4	32.4
要介護度別	無回答	37	27.0	13.5	27.0	21.6	13.5	-	21.6	21.6	10.8	-	27.0
要介護度別	要支援1	31	19.4	19.4	16.1	12.9	6.5	25.8	9.7	12.9	3.2	3.2	35.5
	要支援2	32	6.3	21.9	25.0	15.6	12.5	25.0	15.6	15.6	15.6	-	25.0
	要介護1	52	13.5	9.6	9.6	13.5	9.6	17.3	15.4	17.3	5.8	7.7	42.3
	要介護2	52	17.3	19.2	21.2	23.1	17.3	38.5	28.8	21.2	15.4	9.6	28.8
	要介護3	43	7.0	7.0	16.3	4.7	14.0	25.6	25.6	18.6	11.6	9.3	32.6
	要介護4	14	7.1	14.3	21.4	7.1	14.3	-	14.3	28.6	-	7.1	35.7
	要介護5	10	-	-	-	-	-	-	30.0	20.0	10.0	10.0	40.0
	無回答	10	10.0	20.0	30.0	30.0	30.0	-	30.0	20.0	10.0	10.0	50.0
主な介護者別	配偶者	75	16.0	13.3	18.7	13.3	16.0	21.3	22.7	6.7	9.3	5.3	38.7
	子	116	17.2	18.1	16.4	14.7	11.2	29.3	19.8	28.4	12.1	7.8	26.7
	子の配偶者	29	10.3	6.9	6.9	6.9	6.9	13.8	17.2	13.8	10.3	10.3	62.1
	孫	2	50.0	50.0	50.0	50.0	-	50.0	50.0	50.0	-	-	-
	兄弟・姉妹	6	-	-	16.7	33.3	-	16.7	-	16.7	-	16.7	50.0
	その他	4	-	-	-	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	-	-	25.0
	無回答	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
主な介護者の年齢別	20歳未満	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20代	3	33.3	66.7	33.3	33.3	-	66.7	33.3	66.7	-	-	33.3
	30代	2	50.0	-	-	50.0	-	50.0	50.0	50.0	-	-	50.0
	40代	21	4.8	14.3	9.5	19.0	4.8	28.6	9.5	14.3	4.8	4.8	38.1
	50代	49	18.4	18.4	18.4	10.2	8.2	28.6	16.3	30.6	12.2	8.2	28.6
	60代	64	17.2	12.5	12.5	14.1	15.6	21.9	25.0	23.4	9.4	6.3	39.1
	70代	39	5.1	10.3	15.4	15.4	12.8	25.6	20.5	10.3	7.7	12.8	35.9
	80歳以上	52	19.2	15.4	21.2	13.5	15.4	17.3	19.2	9.6	13.5	3.8	36.5
	わからない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	2	50.0	-	-	-	-	-	50.0	-	50.0	50.0	-	
今後の介護継続意向別	問題なく、続けていける	18	5.6	16.7	5.6	-	-	27.8	11.1	33.3	11.1	5.6	44.4
	問題はあるが、何とか続けていける	43	20.9	18.6	16.3	18.6	9.3	23.3	18.6	23.3	9.3	11.6	39.5
	続けていくのは、やや難しい	10	20.0	40.0	20.0	10.0	20.0	40.0	60.0	30.0	-	-	20.0
	続けていくのは、かなり難しい	8	12.5	25.0	25.0	25.0	-	25.0	12.5	37.5	25.0	-	25.0
	主な介護者に確認しないと、わからない	2	-	50.0	-	-	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	-	-
無回答	14	21.4	-	-	14.3	-	28.6	21.4	21.4	14.3	21.4	35.7	



(12) 要支援・要介護認定を受ける以前の活動

図表 - 26



要支援・要介護認定を受ける以前の活動では、「自治会、町内会などの自治組織の活動」(23.7%)が最も多く、次いで「趣味又は指導者としてのスポーツ等」(15.5%)、「収入が発生する仕事」(13.8%)、「交通安全や地域安全などの活動」(9.9%)となっている。また、「特に活動していない」が61.2%となっている。

要支援・要介護認定を受ける以前の活動を性別にみると、男性では「自治会、町内会などの自治組織の活動」(27.4%)、「交通安全や地域安全などの活動」(14.3%)、「地域の伝統や祭りなどを伝承する活動」(16.7%)、「収入が発生する仕事」(16.7%)で男性に比べ割合が高く、「特に活動していない」(56.9%)では女性の方が高くなっている。

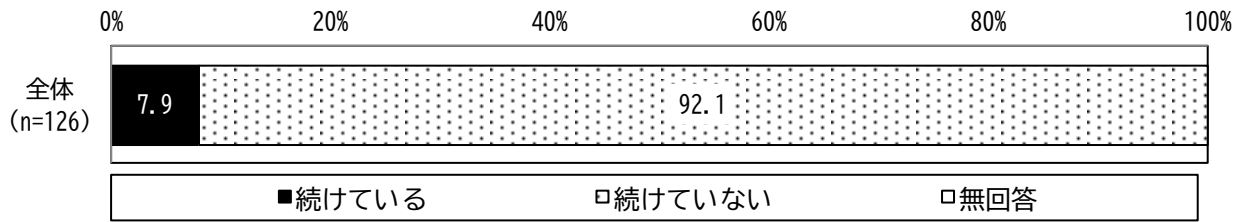
年齢別でみると、69歳以下では「収入が発生する仕事」の割合が高くなっている。

図表 - 27 性別、年齢別、要介護度別  
要支援・要介護認定を受ける以前の活動(%)

		調査数「人」	自治会、町内会などの活動	交通安全や地域安全などの活動	趣味又は指導者としての活動等	生活の支援、子育て支援などの活動	地域の伝統や祭りなどの活動	ボランティアなどの活動	高齢者を支援する活動	収入が発生する仕事	特に活動していない
全体		281	19.6	8.2	12.8	1.4	7.8	6.8	5.0	11.4	50.5
性別	男性	84	27.4	14.3	13.1	1.2	16.7	6.0	6.0	16.7	39.3
	女性	160	17.5	4.4	11.3	1.9	5.0	6.9	5.6	9.4	56.9
	無回答	37	10.8	10.8	18.9	-	-	8.1	-	8.1	48.6
年齢別	65歳未満	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	65～69歳	8	12.5	-	-	-	-	-	-	50.0	37.5
	70～74歳	21	23.8	9.5	9.5	4.8	9.5	9.5	-	9.5	52.4
	75～79歳	29	31.0	10.3	13.8	-	10.3	-	6.9	13.8	37.9
	80～84歳	49	26.5	6.1	6.1	2.0	14.3	10.2	10.2	8.2	55.1
	85～89歳	68	19.1	7.4	13.2	-	5.9	8.8	2.9	10.3	48.5
	90歳以上	68	14.7	8.8	16.2	2.9	8.8	-	7.4	10.3	57.4
	無回答	37	10.8	10.8	18.9	-	-	-	-	8.1	48.6
要介護度別	要支援1	31	35.5	3.2	-	3.2	3.2	6.5	-	3.2	51.6
	要支援2	32	25.0	15.6	-	-	12.5	6.3	6.3	9.4	53.1
	要介護1	52	17.3	1.9	5.8	1.9	7.7	1.9	3.8	13.5	57.7
	要介護2	52	19.2	11.5	19.2	1.9	13.5	13.5	9.6	11.5	46.2
	要介護3	43	18.6	9.3	27.9	2.3	11.6	7.0	9.3	14.0	41.9
	要介護4	14	14.3	-	21.4	-	7.1	7.1	-	21.4	57.1
	要介護5	10	10.0	10.0	10.0	-	-	-	-	20.0	40.0
	無回答	10	20.0	10.0	-	-	-	-	10.0	10.0	70.0

(13) 要支援・要介護の認定を受ける以前の活動の継続状況

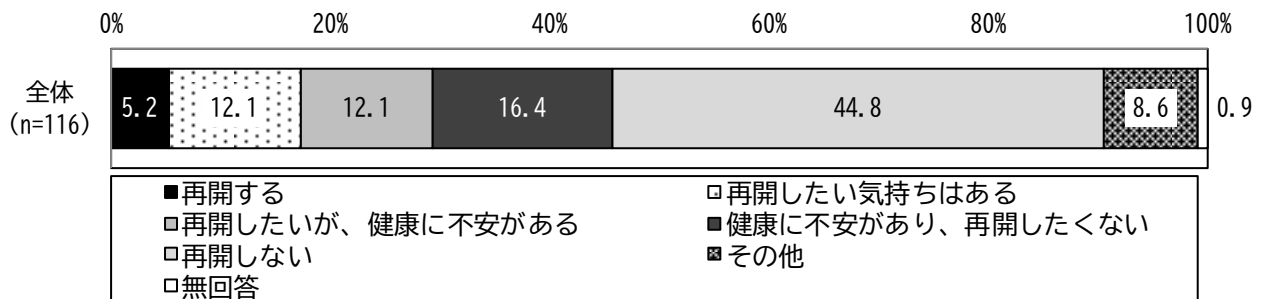
図表 - 28



要支援・要介護の認定を受ける以前の活動を現在でも続けているかでは、「続けていない」(92.1%)が多く、「続けている」(7.9%)となっている。

(14) 活動の再開意向

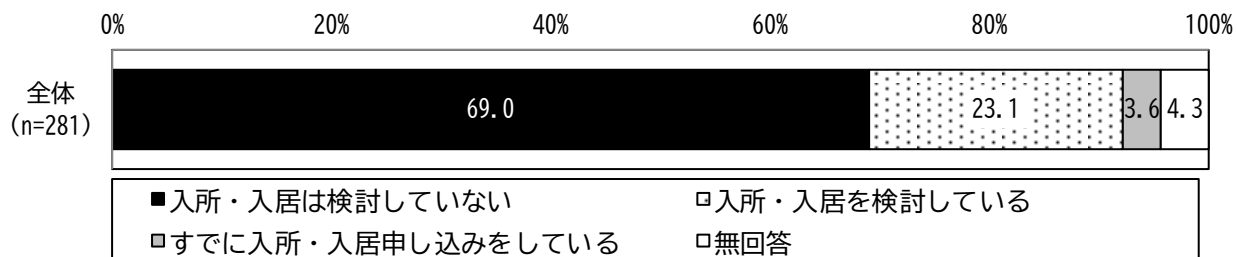
図表 - 29



心身の状態が良くなった場合の活動の再開意向では、「再開しない」(44.8%)が最も多く、次いで「健康に不安があり、再開したくない」(16.4%)、「再開したい気持ちはある」、「再開したいが、健康に不安がある」(12.1%)、「その他」(8.6%)、「再開する」(5.2%)となっており、再開する、または再開したい気持ちがある人の割合は29.4%を占める。

(15) 施設等への入所・入居の検討状況

図表 -30



施設等への入所・入居の検討状況では、「入所・入居を検討していない」(69.0%)が最も多く、次いで「入所・入居を検討している」(23.1%)、「すでに入所・入居申し込みをしている」(3.6%)となっており、入所・入居を検討、またはすでに申し込みをしている人の割合は26.7%を占める。

年齢別にみると、「入所・入居を検討している」、「すでに入所・入居申し込みをしている」では70歳以上から回答がみられる。

要介護度別にみると、要介護4、要介護5では「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合が、他に比べ高くなっている。

主な介護者の年齢別にみると、50代、60代、80歳以上で、他に比べ「入所・入居を検討している」の割合が高くなっている。

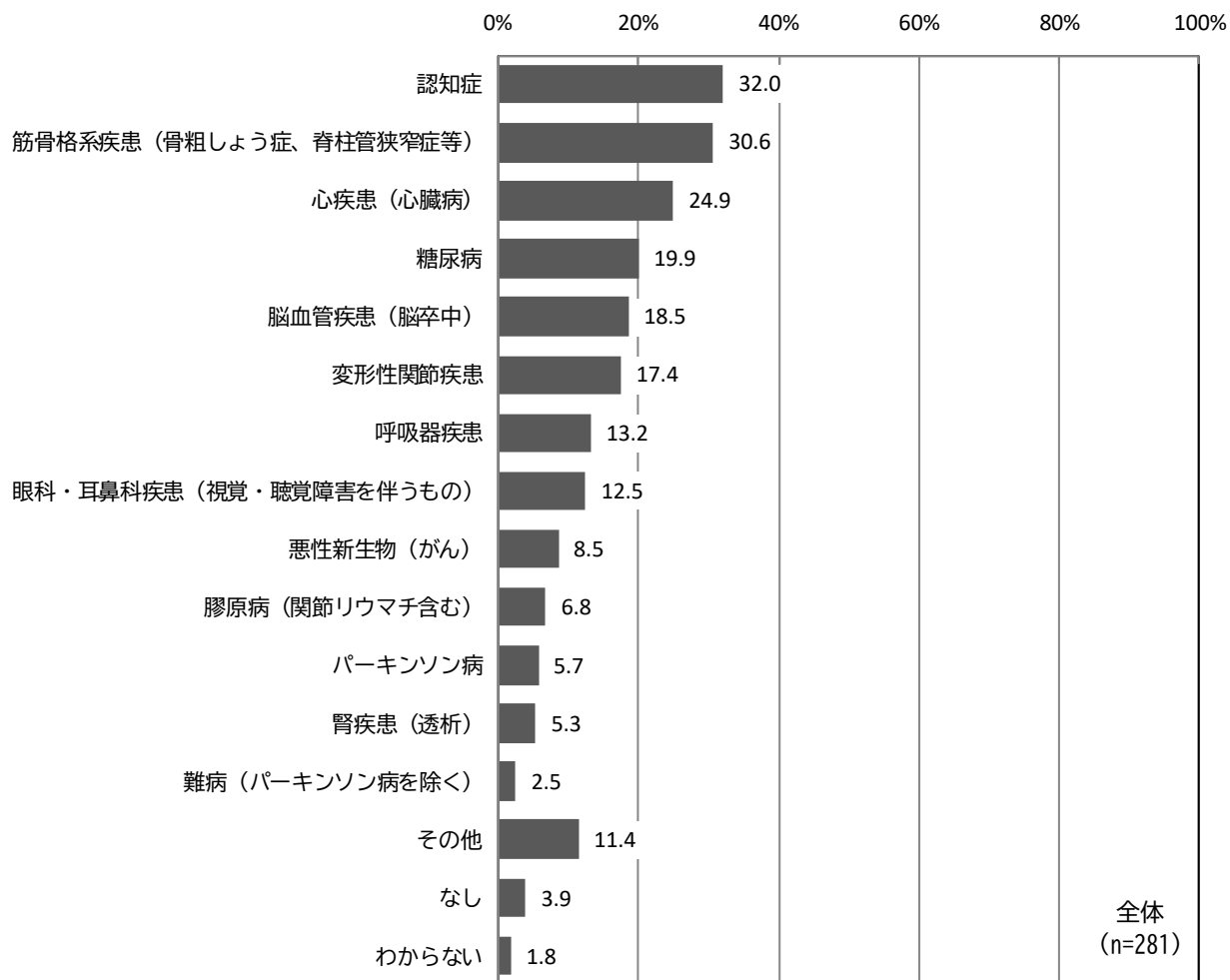
今後の介護継続意向別にみると、続けていくのは難しいと考える場合、入所・入居を検討している人の割合が高くなっている。

図表 - 31 性別、年齢別、要介護度別、主な介護者別、主な介護者の年齢別  
今後の介護継続意向別 施設等への入所・入居の検討状況(%)

		調査数「人」	入所・入居 ては検討 ないし	入所・入居 を検討 するし	す しで 込みに 入所・ 入居 する	無 回 答
全体		281	69.0	23.1	3.6	4.3
性別	男性	84	75.0	19.0	1.2	4.8
	女性	160	65.0	25.0	5.6	4.4
	無回答	37	73.0	24.3	-	2.7
年齢別	65歳未満	1	100.0	-	-	-
	65～69歳	8	75.0	-	-	25.0
	70～74歳	21	71.4	19.0	4.8	4.8
	75～79歳	29	69.0	24.1	3.4	3.4
	80～84歳	49	77.6	18.4	2.0	2.0
	85～89歳	68	66.2	25.0	2.9	5.9
	90歳以上	68	61.8	27.9	7.4	2.9
	無回答	37	73.0	24.3	-	2.7
要介護度別	要支援1	31	90.3	6.5	3.2	-
	要支援2	32	78.1	9.4	6.3	6.3
	要介護1	52	73.1	23.1	-	3.8
	要介護2	52	55.8	32.7	3.8	7.7
	要介護3	43	60.5	34.9	2.3	2.3
	要介護4	14	50.0	28.6	14.3	7.1
	要介護5	10	60.0	20.0	10.0	10.0
	無回答	10	80.0	10.0	10.0	-
主な介護者別	配偶者	75	78.7	16.0	1.3	4.0
	子	116	62.1	31.0	3.4	3.4
	子の配偶者	29	69.0	13.8	6.9	10.3
	孫	2	50.0	50.0	-	-
	兄弟・姉妹	6	66.7	16.7	16.7	-
	その他	4	25.0	75.0	-	-
	無回答	0	-	-	-	-
主な介護者の年齢別	20歳未満	0	-	-	-	-
	20代	3	100.0	-	-	-
	30代	2	100.0	-	-	-
	40代	21	66.7	19.0	-	14.3
	50代	49	59.2	30.6	6.1	4.1
	60代	64	67.2	26.6	3.1	3.1
	70代	39	74.4	17.9	5.1	2.6
	80歳以上	52	69.2	25.0	1.9	3.8
	わからない	0	-	-	-	-
	無回答	2	50.0	50.0	-	-
今後の介護継続意向別	問題なく、続けていける	18	66.7	27.8	-	5.6
	問題はあるが、何とか続けていける	43	62.8	27.9	7.0	2.3
	続けていくのは、やや難しい	10	40.0	60.0	-	-
	続けていくのは、かなり難しい	8	12.5	62.5	12.5	12.5
	主な介護者に確認しないと、わからない	2	100.0	-	-	-
	無回答	14	64.3	14.3	-	21.4

(16) 現在抱えている傷病

図表 - 32



現在抱えている傷病では、「認知症」(32.0%)が最も多く、次いで「筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)」(30.6%)、「心疾患(心臓病)」(24.9%)、「糖尿病」(19.9%)、「脳血管疾患(脳卒中)」(18.5%)となっている。

現在抱えている傷病を性別にみると、男性では女性に比べ、「脳血管疾患（脳卒中）」（27.4%）、「悪性新生物（がん）」（15.5%）、「糖尿病」（29.8%）などの割合が高く、女性では「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」（34.4%）、「変形性関節疾患」（20.0%）、「認知症」（34.4%）などの割合が高くなっている。

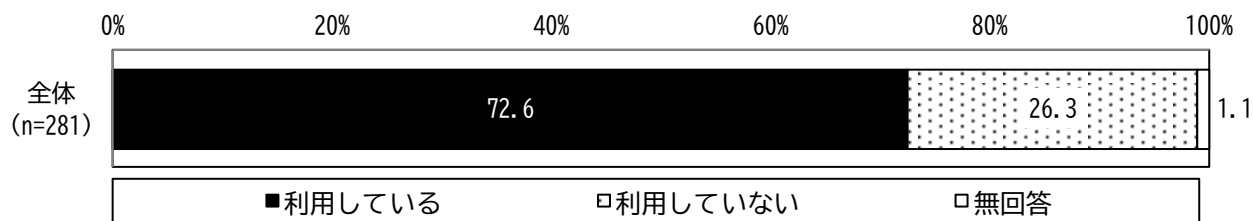
年齢別にみると、「脳血管疾患（脳卒中）」では84歳以下、特に65～74歳で割合が高くなっている。要介護度別にみると、「認知症」は要介護1以上で割合が高くなり、いずれの要介護度でもほかの傷病に比べ高い割合を占める。

図表 - 33 性別、年齢別、要介護度別 現在抱えている傷病(%)

		調査数「人」	脳血管疾患（脳卒中）	心疾患（心臓病）	悪性新生物（がん）	呼吸器疾患	腎疾患（透析）	筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）	膠原病（関節リウマチ含む）	変形性関節疾患	認知症	パーキンソン病	難病（パーキンソン病を除く）	糖尿病	眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）	その他	なし	わからない
全体		281	18.5	24.9	8.5	13.2	5.3	30.6	6.8	17.4	32.0	5.7	2.5	19.9	12.5	11.4	3.9	1.8
性別	男性	84	27.4	28.6	15.5	16.7	7.1	23.8	2.4	14.3	26.2	4.8	1.2	29.8	8.3	11.9	6.0	3.6
	女性	160	14.4	24.4	6.3	11.9	4.4	34.4	8.8	20.0	34.4	5.6	3.1	15.0	16.3	12.5	2.5	1.3
	無回答	37	16.2	18.9	2.7	10.8	5.4	29.7	8.1	13.5	35.1	8.1	2.7	18.9	5.4	5.4	5.4	-
年齢別	65歳未満	1	-	-	-	-	-	100.0	-	100.0	-	-	100.0	-	-	100.0	-	-
	65～69歳	8	37.5	12.5	37.5	-	25.0	12.5	12.5	25.0	12.5	12.5	12.5	37.5	-	-	-	-
	70～74歳	21	33.3	9.5	19.0	14.3	9.5	23.8	4.8	4.8	14.3	9.5	4.8	14.3	19.0	9.5	-	-
	75～79歳	29	24.1	24.1	17.2	13.8	6.9	27.6	-	17.2	24.1	-	-	48.3	20.7	10.3	3.4	-
	80～84歳	49	24.5	20.4	6.1	8.2	2.0	34.7	10.2	20.4	32.7	10.2	4.1	20.4	8.2	6.1	4.1	2.0
	85～89歳	68	10.3	29.4	4.4	20.6	5.9	27.9	8.8	19.1	44.1	5.9	1.5	17.6	8.8	13.2	1.5	2.9
	90歳以上	68	14.7	33.8	7.4	11.8	2.9	-	4.4	17.6	29.4	1.5	-	10.3	19.1	17.6	7.4	2.9
無回答	37	16.2	18.9	2.7	10.8	5.4	-	8.1	13.5	35.1	8.1	2.7	18.9	5.4	5.4	5.4	-	
要介護度別	要支援1	31	9.7	22.6	3.2	9.7	3.2	29.0	9.7	22.6	16.1	3.2	-	25.8	12.9	9.7	6.5	3.2
	要支援2	32	12.5	31.3	9.4	12.5	12.5	56.3	12.5	21.9	-	6.3	6.3	12.5	21.9	15.6	3.1	-
	要介護1	52	15.4	21.2	11.5	15.4	-	38.5	3.8	15.4	34.6	1.9	1.9	13.5	3.8	9.6	3.8	3.8
	要介護2	52	26.9	23.1	9.6	11.5	7.7	19.2	1.9	23.1	40.4	9.6	-	23.1	23.1	9.6	-	1.9
	要介護3	43	16.3	37.2	7.0	20.9	7.0	32.6	7.0	16.3	46.5	4.7	4.7	27.9	16.3	18.6	-	-
	要介護4	14	35.7	21.4	14.3	7.1	-	7.1	14.3	14.3	50.0	-	-	28.6	7.1	7.1	7.1	-
	要介護5	10	30.0	10.0	20.0	10.0	-	-	-	10.0	30.0	10.0	10.0	20.0	-	20.0	10.0	10.0
無回答	10	20.0	30.0	10.0	10.0	10.0	-	10.0	-	30.0	10.0	-	-	-	10.0	20.0	-	

(17) 住宅改修、福祉用具貸与、購入以外の介護保険サービス利用状況

図表 - 34



住宅改修、福祉用具貸与・購入以外のサービス利用状況では、「利用している」が72.6%、「利用していない」が26.3%となっている。

年齢別にみると、90歳以上で「利用している」が82.4%と最も高くなっている。

要介護度別にみると、重度化するとともに「利用している」割合が高くなる傾向にある。

図表 - 35 性別、年齢別、要介護度別

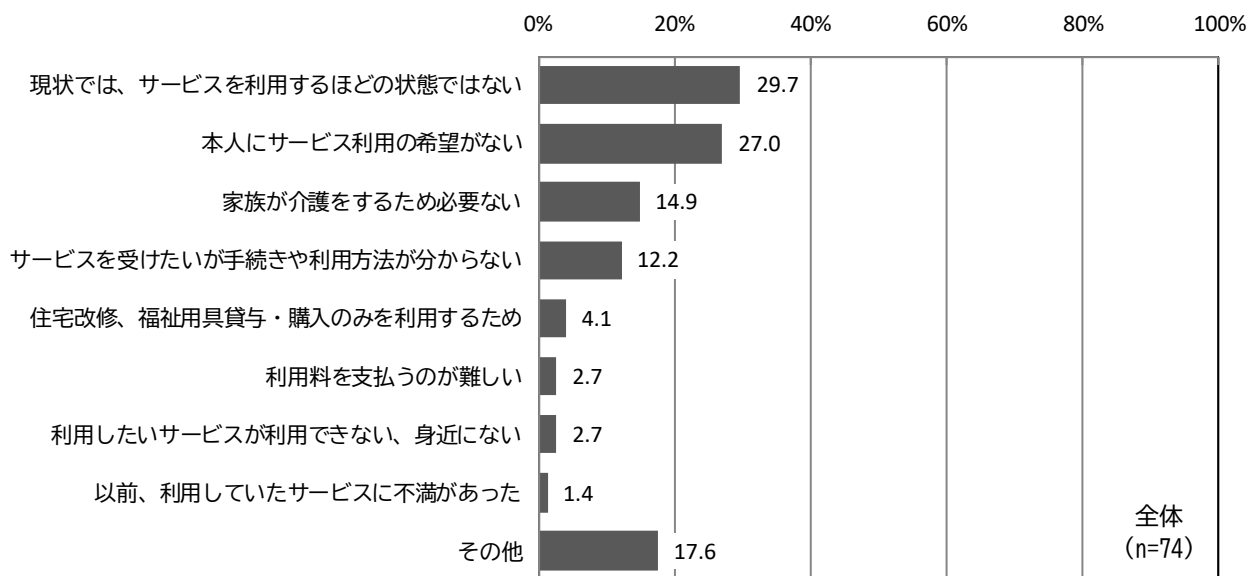
住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービス利用状況(%)

		調査数 「人」	利用 して いる	利用 して い ない	無 回 答
全体		281	72.6	26.3	1.1
性別	男性	84	75.0	23.8	1.2
	女性	160	71.3	27.5	1.3
	無回答	37	73.0	27.0	-
年齢別	65歳未満	1	100.0	-	-
	65～69歳	8	75.0	25.0	-
	70～74歳	21	71.4	23.8	4.8
	75～79歳	29	79.3	13.8	6.9
	80～84歳	49	65.3	34.7	-
	85～89歳	68	64.7	35.3	-
	90歳以上	68	82.4	17.6	-
	無回答	37	73.0	27.0	-
要介護度別	要支援1	31	61.3	38.7	-
	要支援2	32	62.5	34.4	3.1
	要介護1	52	61.5	34.6	3.8
	要介護2	52	78.8	21.2	-
	要介護3	43	86.0	14.0	-
	要介護4	14	92.9	7.1	-
	要介護5	10	90.0	10.0	-
	無回答	10	60.0	40.0	-



(18) 介護保険サービスを利用していない理由

図表 - 36



介護保険サービスを利用していない理由では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」(29.7%)が最も多く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」(27.0%)、「家族が介護をするため必要ない」(14.9%)、「サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない」(12.2%)、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」(4.1%)となっている。

介護保険サービスを利用していない理由を性別にみると、男性に比べ女性で「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」(29.5%)、サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない(15.9%)の割合が高く、男性では「家族が介護をするため必要ない」(30.0%)が高くなっている。

年齢別にみると、90歳以上では「家族が介護をするため必要ない」(41.7%)の割合が、他に比べ高い。

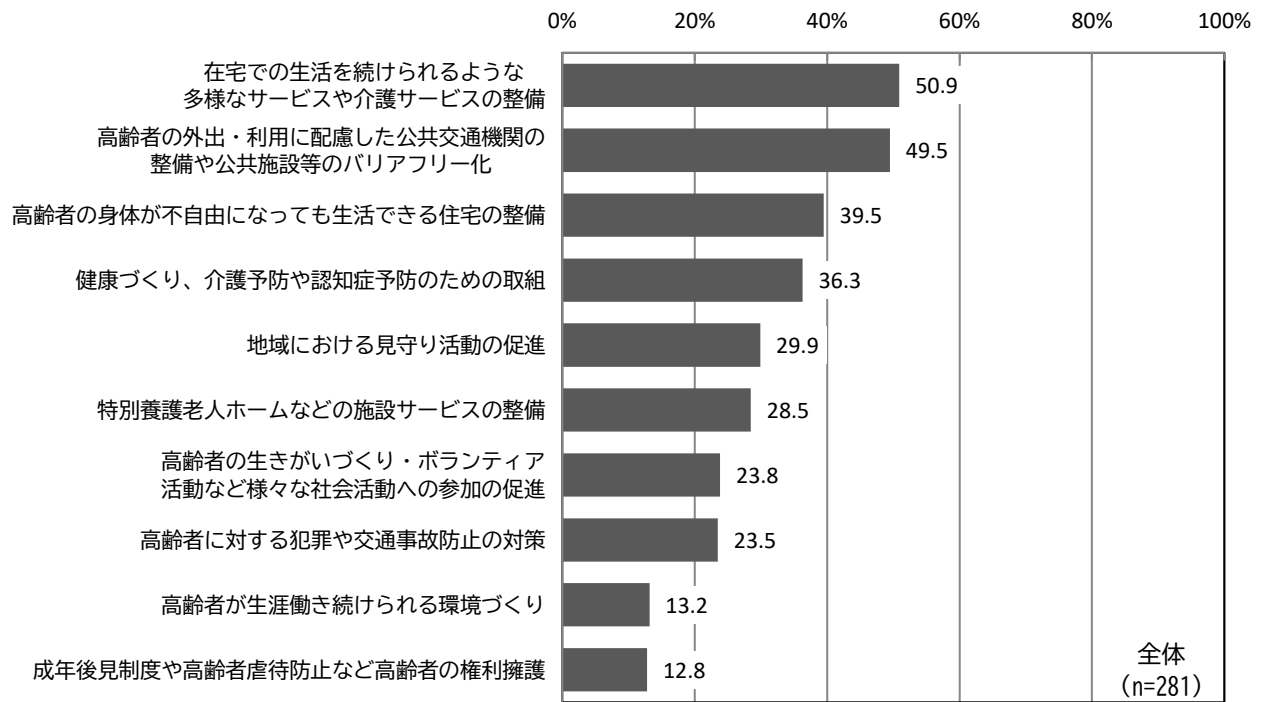
主な介護者別にみると、配偶者、子ともに「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、  
「本人にサービス利用の希望がない」の割合が高くなっている。

図表 - 37 性別、年齢別、要介護度別、介護の頻度別、主な介護者別  
介護保険サービスを利用していない理由(%)

		調査数「人」	現状では、サービスを利用しない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたがサービスがなくなった	利用料を支払うのが難しい	利用したいサービスが利用できない、身近に利用できない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けたいが手続きがわからない	その他
全体		74	29.7	27.0	14.9	1.4	2.7	2.7	4.1	12.2	17.6
性別	男性	20	20.0	25.0	30.0	-	-	5.0	10.0	5.0	10.0
	女性	44	29.5	27.3	6.8	2.3	2.3	2.3	2.3	15.9	22.7
	無回答	10	50.0	30.0	20.0	-	10.0	-	-	10.0	10.0
年齢別	65歳未満	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	65～69歳	2	-	100.0	-	50.0	-	-	-	-	-
	70～74歳	5	20.0	20.0	20.0	-	-	20.0	-	-	-
	75～79歳	4	50.0	25.0	-	-	-	-	-	50.0	-
	80～84歳	17	23.5	17.6	5.9	-	-	5.9	5.9	5.9	23.5
	85～89歳	24	25.0	29.2	8.3	-	-	-	4.2	12.5	29.2
	90歳以上	12	33.3	25.0	41.7	-	8.3	-	8.3	16.7	8.3
	無回答	10	50.0	30.0	20.0	-	10.0	-	-	10.0	10.0
要介護度別	要支援1	12	41.7	25.0	-	-	-	8.3	-	16.7	-
	要支援2	11	36.4	36.4	9.1	-	-	-	-	9.1	9.1
	要介護1	18	22.2	27.8	11.1	-	-	5.6	5.6	16.7	16.7
	要介護2	11	27.3	18.2	18.2	-	9.1	-	9.1	9.1	54.5
	要介護3	6	-	16.7	16.7	-	-	-	16.7	16.7	16.7
	要介護4	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	要介護5	1	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-
	無回答	4	-	25.0	75.0	-	-	-	-	-	25.0
家族・親族からの介護の頻度別	ない	7	28.6	-	-	-	-	-	14.3	14.3	28.6
	週に1日よりも少ない	6	33.3	16.7	-	-	16.7	16.7	-	33.3	-
	週に1～2日ある	16	31.3	25.0	-	-	6.3	-	6.3	6.3	25.0
	週に3～4日ある	4	-	75.0	-	-	-	-	-	25.0	25.0
	ほぼ毎日ある	37	35.1	29.7	27.0	2.7	-	2.7	2.7	5.4	13.5
	無回答	4	-	25.0	25.0	-	-	-	-	50.0	25.0
主な介護者別	配偶者	19	31.6	31.6	21.1	-	-	-	5.3	5.3	21.1
	子	34	35.3	29.4	11.8	-	2.9	5.9	2.9	11.8	14.7
	子の配偶者	6	16.7	16.7	16.7	-	-	-	-	16.7	16.7
	孫	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	兄弟・姉妹	2	-	100.0	-	50.0	-	-	-	-	-
	その他	2	50.0	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-
	無回答	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(19) 行政が力を入れていくべきこと

図表 - 38



行政が力をいれていくべきことでは、「在宅での生活を続けられるような多様なサービスや介護サービスの整備」(50.9%)が最も多く、次いで「高齢者の外出・利用に配慮した公共交通機関の整備や公共施設等のバリアフリー化」(49.5%)、「高齢者の身体が不自由になっても生活できる住宅の整備」(39.5%)、「健康づくり、介護予防や認知症予防のための取組」(36.3%)となっている。

行政が力を入れていくべきことを性別にみると、女性に比べ男性で「高齢者の生きがいづくり・ボランティア活動など様々な社会活動への参加の促進」(33.3%)、「在宅での生活を続けられるような多様なサービスや介護サービスの整備」(60.7%)、「高齢者の外出・利用に配慮した公共交通機関の整備や公共施設等のバリアフリー化」(60.7%)の割合が高くなっている。

すべての要介護度で、「在宅での生活を続けられるような多様なサービスや介護サービスの整備」、「高齢者の外出・利用に配慮した公共交通機関の整備や公共施設等のバリアフリー化」の割合が4割を超えている。

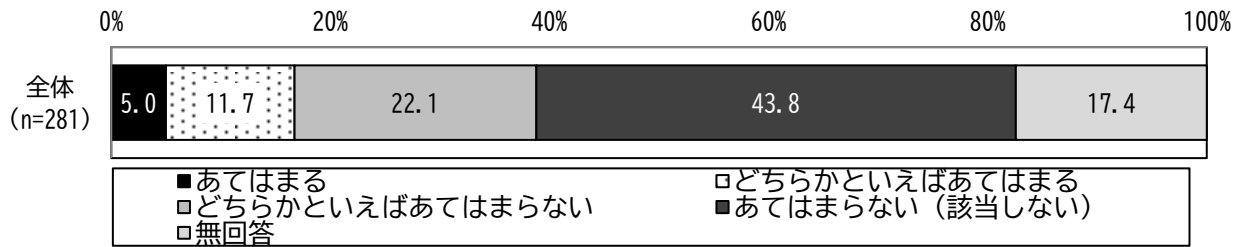
図表 - 39 性別、年齢別、要介護度別 行政が力を入れていくべきこと(%)

		調査数「人」	高齢者の生きがいづくり・ボランティア活動など様々な社会活動の促進	高齢者が生涯働き続けられる環境	健康づくり、予防のための認知症	在宅での生活を続けられるサービスや介護サービスの整備	特別養護老人ホームなどの施設整備	地域における見守り活動の促進	成年後見制度や高齢者の権利擁護	高齢者に対する犯罪や交通事故の対策	高齢者の身体が自由になつて	公共交通機関のバリアフリー化	高齢者の外出・利用に配慮した
全体		281	23.8	13.2	36.3	50.9	28.5	29.9	12.8	23.5	39.5	49.5	
性別	男性	84	33.3	16.7	34.5	60.7	35.7	29.8	16.7	28.6	42.9	60.7	
	女性	160	20.6	9.4	36.9	43.8	26.3	30.0	10.0	20.6	38.1	41.3	
	無回答	37	16.2	21.6	37.8	59.5	21.6	29.7	16.2	24.3	37.8	59.5	
年齢別	65歳未満	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	100.0	
	65～69歳	8	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	25.0	-	-	25.0	50.0	
	70～74歳	21	14.3	19.0	33.3	47.6	23.8	19.0	19.0	38.1	47.6	61.9	
	75～79歳	29	27.6	17.2	41.4	51.7	27.6	37.9	17.2	34.5	41.4	48.3	
	80～84歳	49	24.5	8.2	40.8	46.9	18.4	24.5	16.3	22.4	42.9	38.8	
	85～89歳	68	27.9	14.7	33.8	45.6	30.9	29.4	7.4	20.6	35.3	48.5	
	90歳以上	68	26.5	7.4	36.8	58.8	41.2	-	11.8	20.6	41.2	48.5	
	無回答	37	16.2	21.6	37.8	59.5	21.6	-	16.2	24.3	37.8	59.5	
要介護度別	要支援1	31	19.4	3.2	38.7	51.6	22.6	29.0	19.4	35.5	41.9	51.6	
	要支援2	32	31.3	12.5	34.4	43.8	18.8	31.3	15.6	34.4	43.8	53.1	
	要介護1	52	23.1	3.8	34.6	40.4	19.2	32.7	7.7	17.3	28.8	34.6	
	要介護2	52	25.0	17.3	44.2	46.2	38.5	23.1	7.7	11.5	34.6	46.2	
	要介護3	43	23.3	18.6	32.6	62.8	34.9	30.2	16.3	30.2	51.2	58.1	
	要介護4	14	28.6	28.6	28.6	71.4	50.0	42.9	21.4	28.6	57.1	50.0	
	要介護5	10	40.0	10.0	40.0	40.0	50.0	-	10.0	20.0	20.0	60.0	
無回答	10	20.0	-	20.0	50.0	20.0	-	-	10.0	50.0	40.0		

(20) 現在の生活について

A. 自分の健康状態に満足している

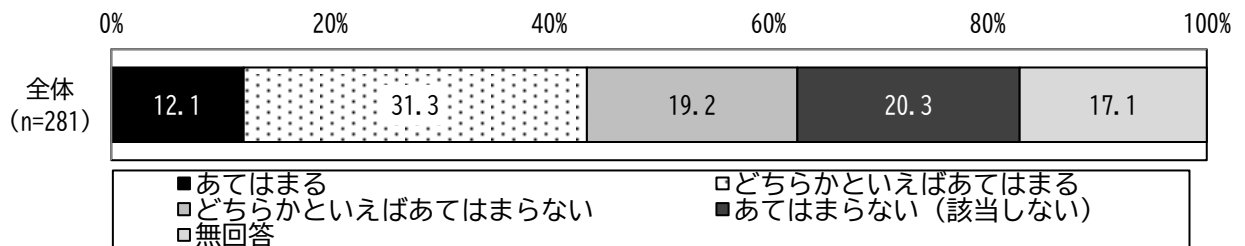
図表 - 40



自分の健康状態に満足しているでは、「あてはまらない (該当しない)」(43.8%) が最も多く、次いで「どちらかといえばあてはまらない」(22.1%)、「どちらかといえばあてはまる」(11.7%)、「あてはまる」(5.0%) となっている。

B. 現在の日常生活に満足している

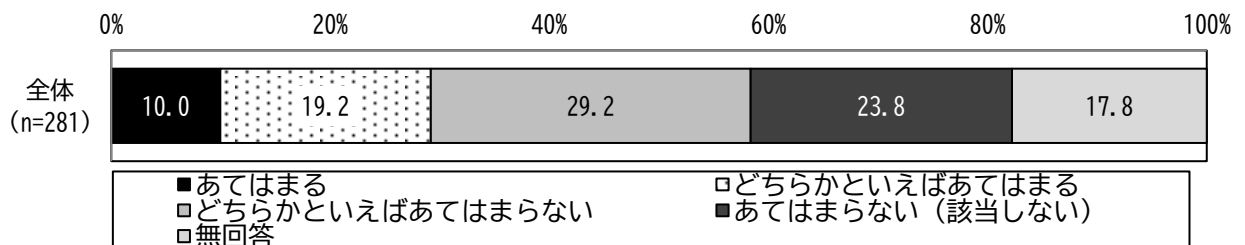
図表 - 41



現在の日常生活に満足しているでは、「どちらかといえばあてはまる」(31.3%) が最も多く、次いで「あてはまらない (該当しない)」(20.3%)、「どちらかといえばあてはまらない」(19.2%)、「あてはまる」(12.1%) となっている。

C. 社会とのつながりを感じている

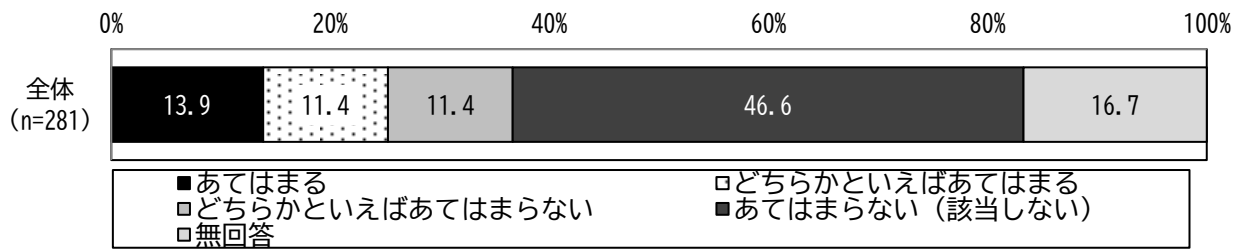
図表 - 42



社会とのつながりを感じているでは、「どちらかといえばあてはまらない」(29.2%) が最も多く、次いで「あてはまらない (該当しない)」(23.8%)、「どちらかといえばあてはまる」(19.2%)、「あてはまる」(10.0%) となっている。

D. 普段から取り組んでいる趣味がある

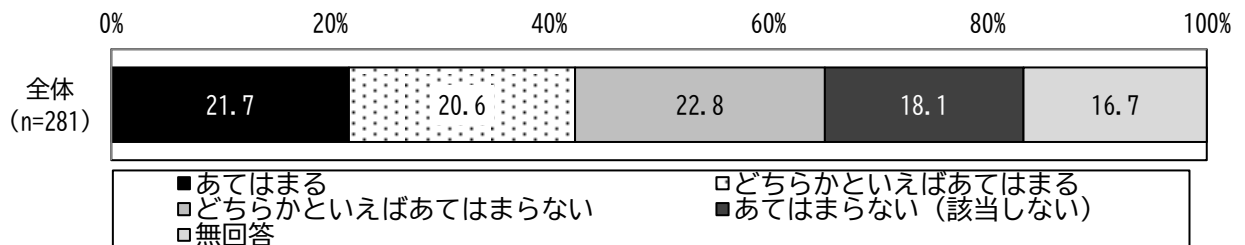
図表 - 43



普段から取り組んでいる趣味があるでは、「あてはまらない (該当しない)」(46.6%) が最も多く、次いで「あてはまる」(13.9%)、「どちらかといえばあてはまる」、「どちらかといえばあてはまらない」(11.4%) となっている。

E. もっと介護サービスを利用したい

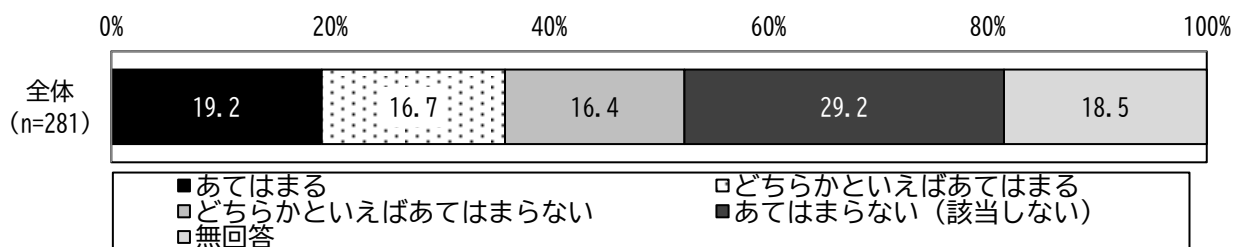
図表 - 44



もっと介護サービスを利用したいでは、「どちらかといえばあてはまらない」(22.8%) が最も多く、次いで「あてはまる」(21.7%)、「どちらかといえばあてはまる」(20.6%)、「あてはまらない (該当しない)」(18.1%) となっている。

F. 孤独感を感じることもある

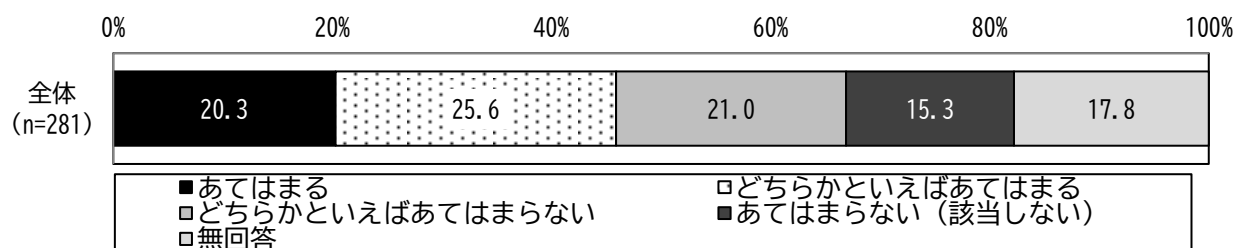
図表 - 45



孤独感を感じることもあるでは、「あてはまらない (該当しない)」(29.2%) が最も多く、次いで「あてはまる」(19.2%)、「どちらかといえばあてはまる」(16.7%)、「どちらかといえばあてはまらない」(16.4%) となっている。

### G. 日ごろからできるだけ身体を動かしている

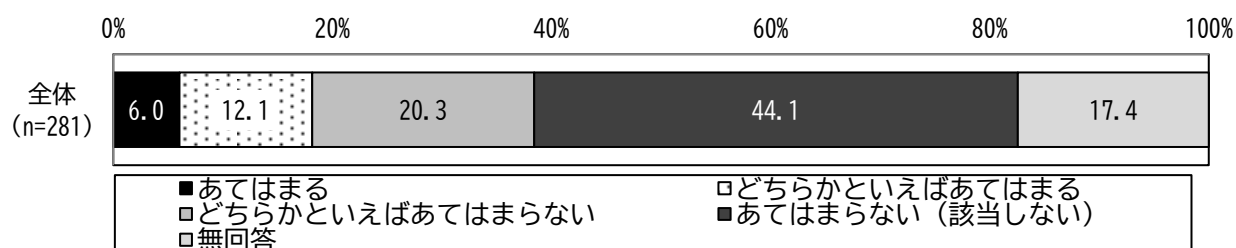
図表 - 46



日ごろからできるだけ身体を動かしているでは、「どちらかといえばあてはまる」(25.6%)が最も多く、次いで「どちらかといえばあてはまらない」(21.0%)、「あてはまる」(20.3%)、「あてはまらない(該当しない)」(15.3%)となっている。

### H. できればもっと社会のために活動したい

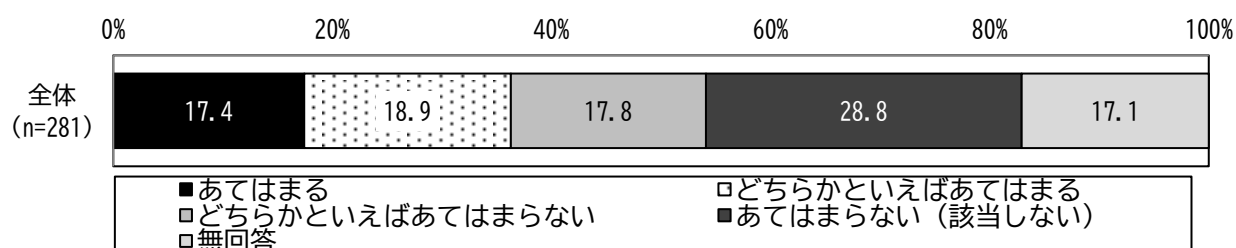
図表 - 47



できればもっと社会のために活動したいでは、「あてはまらない(該当しない)」(44.1%)が最も多く、次いで「どちらかといえばあてはまらない」(20.3%)、「どちらかといえばあてはまる」(12.1%)、「あてはまる」(6.0%)となっている。

### I. 地域や近所とのつながりがある

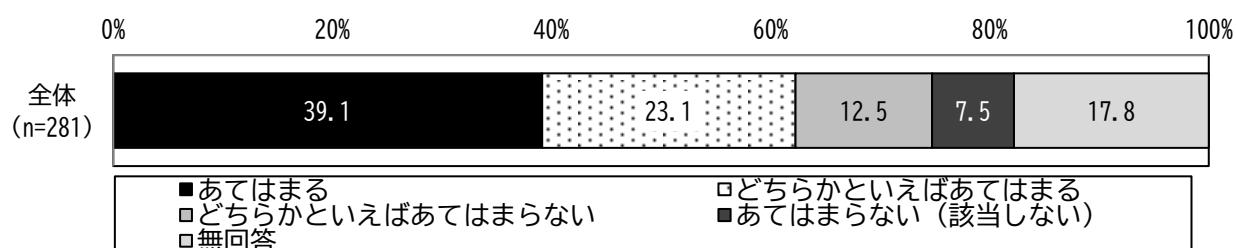
図表 - 48



地域や近所とのつながりがあるでは、「あてはまらない(該当しない)」(28.8%)が最も多く、次いで「どちらかといえばあてはまる」(18.9%)、「どちらかといえばあてはまらない」(17.8%)、「あてはまる」(17.4%)となっている。

## J. 雑談ができる相手がいる

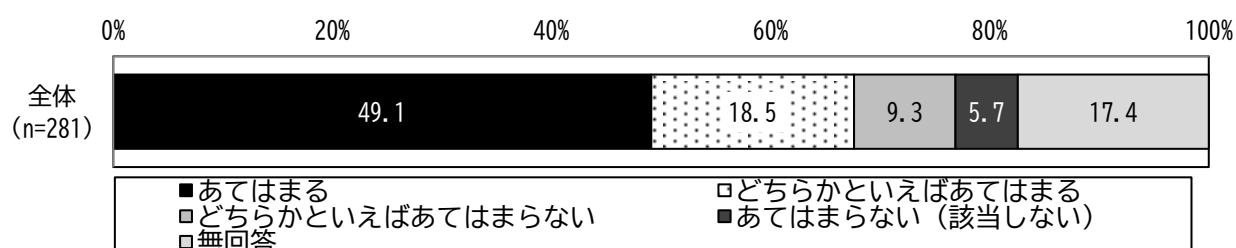
図表 - 49



雑談ができる相手がいるでは、「あてはまる」(39.1%)が最も多く、次いで「どちらかといえばあてはまる」(23.1%)、「どちらかといえばあてはまらない」(12.5%)、「あてはまらない(該当しない)」(7.5%)となっている。

## K. やりたいことが思うようにできない

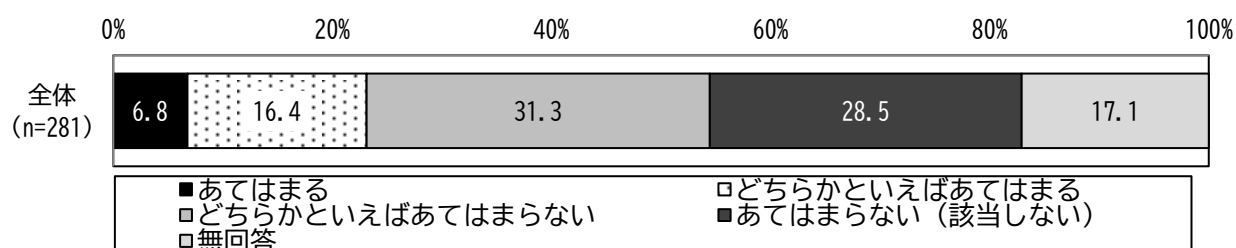
図表 - 50



やりたいことが思うようにできないでは、「あてはまる」(49.1%)が最も多く、次いで「どちらかといえばあてはまる」(18.5%)、「どちらかといえばあてはまらない」(9.3%)、「あてはまらない(該当しない)」(5.7%)となっている。

## L. 介護サービスは使い勝手が悪いと思う

図表 - 51

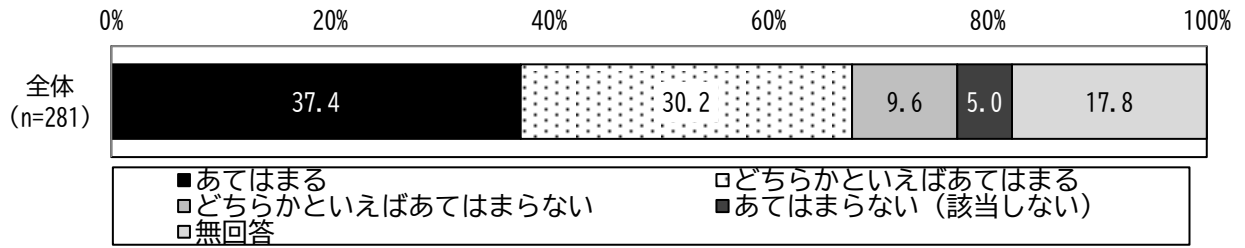


介護サービスは使い勝手が悪いと思うでは、「どちらかといえばあてはまらない」(31.3%)が最も多く、次いで「あてはまらない(該当しない)」(28.5%)、「どちらかといえばあてはまる」(16.4%)、「あてはまる」(6.8%)となっている。



M. 日頃から健康に気をつけて生活している

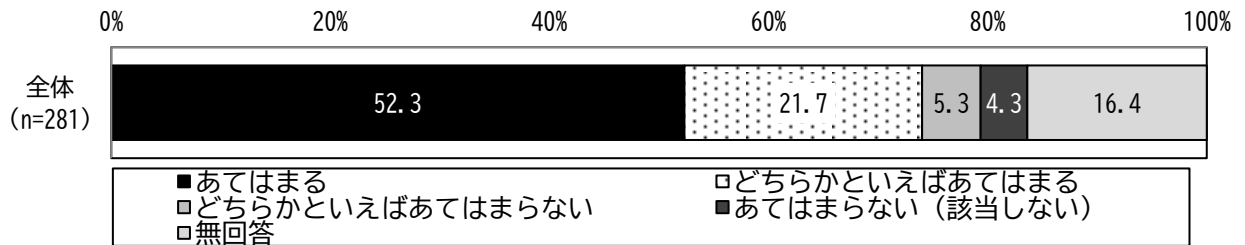
図表 - 52



日頃から健康に気をつけて生活しているでは、「あてはまる」(37.4%)が最も多く、次いで「どちらかといえばあてはまる」(30.2%)、「どちらかといえばあてはまらない」(9.6%)、「あてはまらない(該当しない)」(5.0%)となっている。

N. 将来の健康面に不安がある

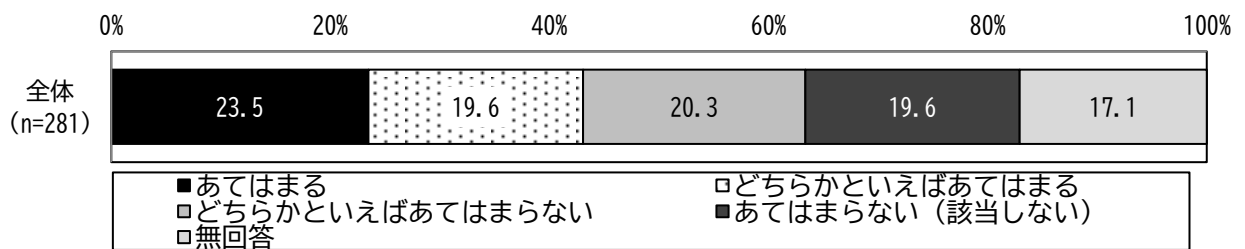
図表 - 53



将来の健康面に不安があるでは、「あてはまる」(52.3%)が最も多く、次いで「どちらかといえばあてはまる」(21.7%)、「どちらかといえばあてはまらない」(5.3%)、「あてはまらない(該当しない)」(4.3%)となっている。

O. 将来の経済面に不安がある

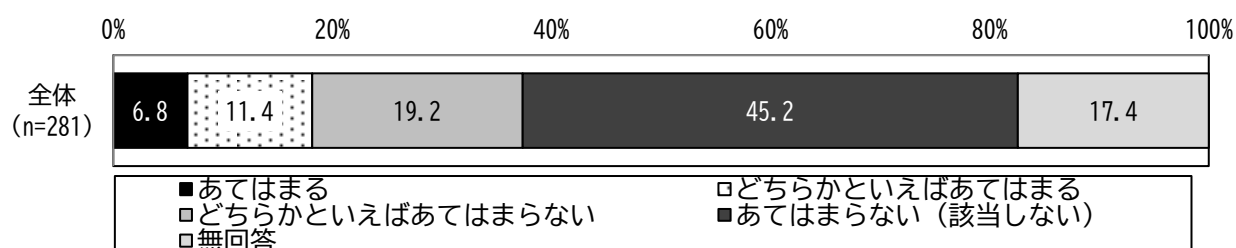
図表 - 54



将来の経済面に不安があるでは、「あてはまる」(23.5%)が最も多く、次いで「どちらかといえばあてはまらない」(20.3%)、「どちらかといえばあてはまる」、「あてはまらない(該当しない)」(19.6%)となっている。

P. 自分の知識や経験を生かせる活動をしたい

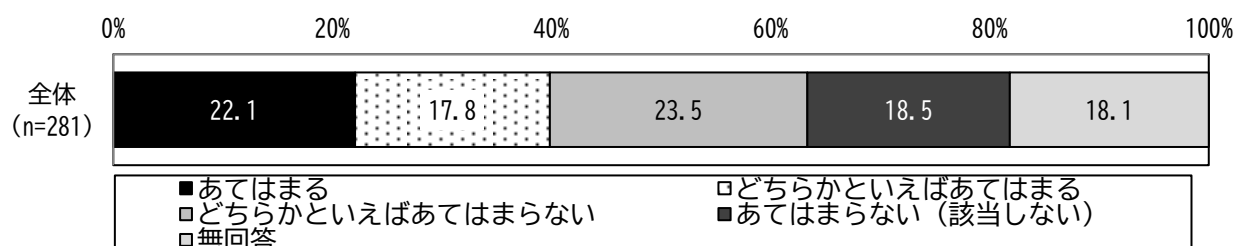
図表 - 55



自分の知識や経験を生かせる活動をしたいでは、「あてはまらない (該当しない)」(45.2%) が最も多く、次いで「どちらかといえばあてはまらない」(19.2%)、「どちらかといえばあてはまる」(11.4%)、「あてはまる」(6.8%)となっている。

Q. もっと介護サービスを充実させるべきだと思う

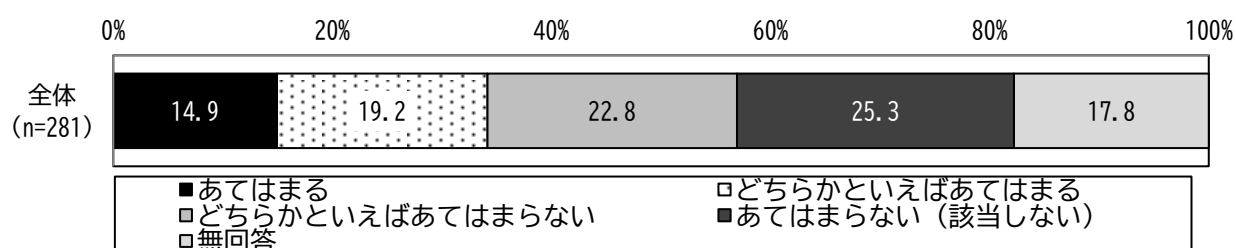
図表 - 56



もっと介護サービスを充実させるべきだと思うでは、「どちらかといえばあてはまらない」(23.5%) が最も多く、次いで「あてはまる」(22.1%)、「あてはまらない (該当しない)」(18.5%)、「どちらかといえばあてはまる」(17.8%)となっている。

R. なるべく外出するようにしている

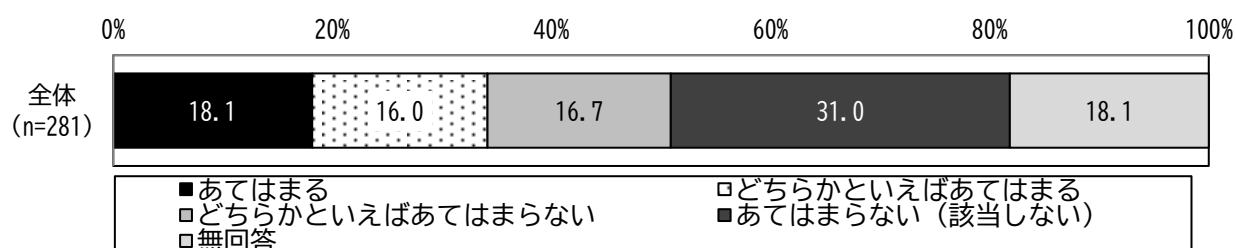
図表 - 57



なるべく外出するようにしているでは、「あてはまらない (該当しない)」(25.3%) が最も多く、次いで「どちらかといえばあてはまらない」(22.8%)、「どちらかといえばあてはまる」(19.2%)、「あてはまる」(14.9%)となっている。

S. 将来、介護を受けず自立した生活をしたい

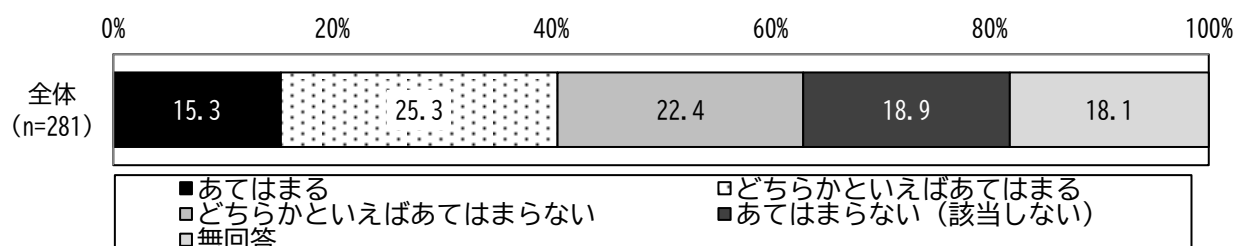
図表 - 58



将来、介護を受けず自立した生活をしたいでは、「あてはまらない (該当しない)」(31.0%) が最も多く、次いで「あてはまる」(18.1%)、「どちらかといえばあてはまらない」(16.7%)、「どちらかといえばあてはまる」(16.0%) となっている。

T. 生きがいや楽しみがある

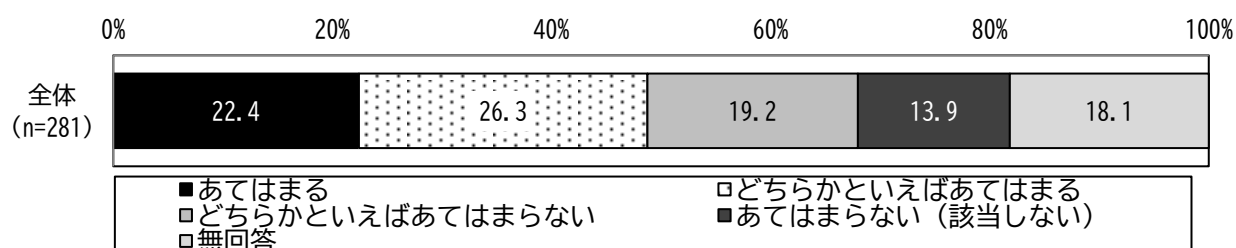
図表 - 59



生きがいや楽しみがあるでは、「どちらかといえばあてはまる」(25.3%) が最も多く、次いで「どちらかといえばあてはまらない」(22.4%)、「あてはまらない (該当しない)」(18.9%)、「あてはまる」(15.3%) となっている。

U. 自分でできることを増やしていきたいと思う

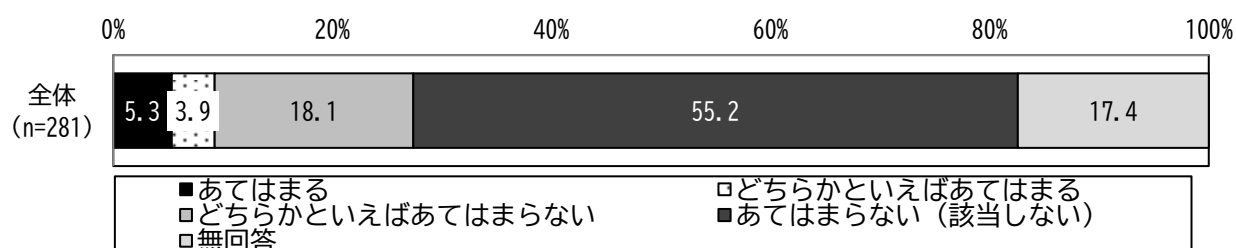
図表 - 60



自分でできることを増やしていきたいと思うでは、「どちらかといえばあてはまる」(26.3%) が最も多く、次いで「あてはまる」(22.4%)、「どちらかといえばあてはまらない」(19.2%)、「あてはまらない (該当しない)」(13.9%) となっている。

## V. 介護のスタッフに不満がある

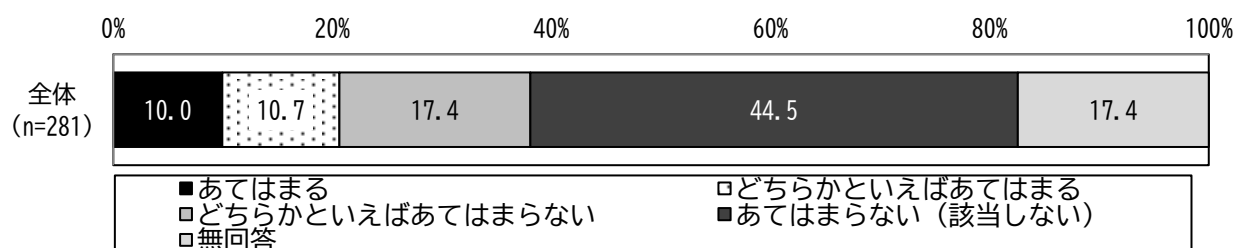
図表 - 61



介護のスタッフに不満があるでは、「あてはまらない (該当しない)」(55.2%) が最も多く、次いで「どちらかといえばあてはまらない」(18.1%)、「あてはまる」(5.3%)、「どちらかといえばあてはまる」(3.9%) となっている。

## W. 自分にできる仕事があればやってみたい

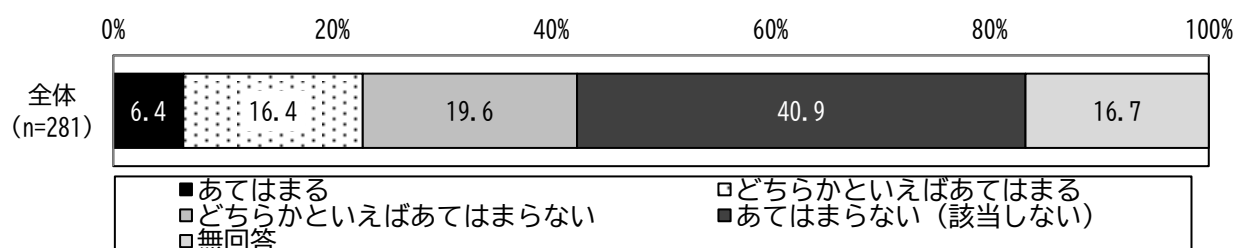
図表 - 62



自分にできる仕事があればやってみたいでは、「あてはまらない (該当しない)」(44.5%) が最も多く、次いで「どちらかといえばあてはまらない」(17.4%)、「どちらかといえばあてはまる」(10.7%)、「あてはまる」(10.0%) となっている。

## X. 介護を受けることに抵抗を感じる

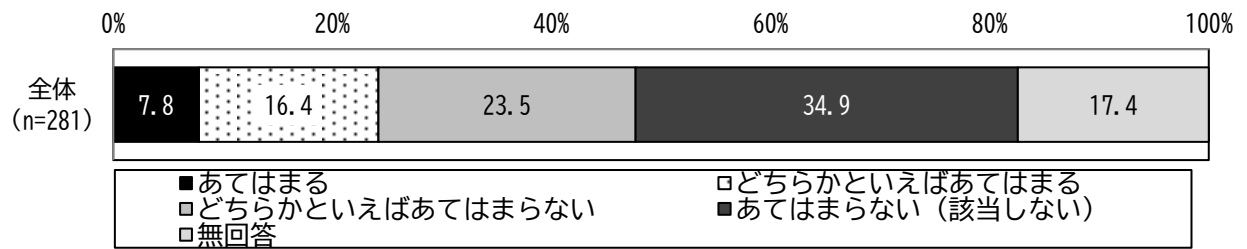
図表 - 63



介護を受けることに抵抗を感じるでは、「あてはまらない (該当しない)」(40.9%) が最も多く、次いで「どちらかといえばあてはまらない」(19.6%)、「どちらかといえばあてはまる」(16.4%)、「あてはまる」(6.4%) となっている。

## Y. 周囲が自分のことを理解してくれない

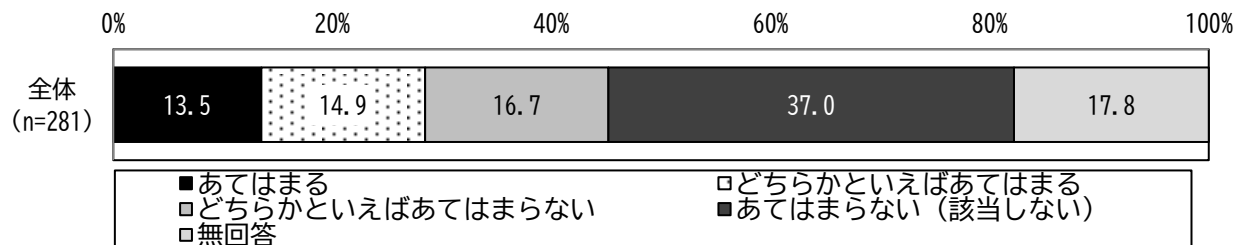
図表 - 64



周囲が自分のことを理解してくれないでは、「あてはまらない (該当しない)」(34.9%) が最も多く、次いで「どちらかといえばあてはまらない」(23.5%)、「どちらかといえばあてはまる」(16.4%)、「あてはまる」(7.8%) となっている。

## Z. 夢や目標がある

図表 - 65

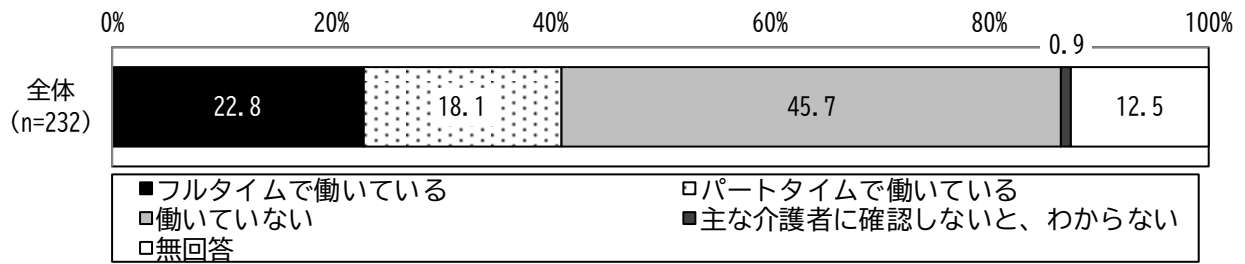


夢や目標があるでは、「あてはまらない (該当しない)」(37.0%) が最も多く、次いで「どちらかといえばあてはまらない」(16.7%)、「どちらかといえばあてはまる」(14.9%)、「あてはまる」(13.5%) となっている。

### 3. 主な介護者の就労と今後の介護について

#### (1) 主な介護者の現在の勤務形態

図表 - 66



主な介護者の現在の勤務形態では、「働いていない」(45.7%)が最も多く、次いで「フルタイムで働いている」(22.8%)、「パートタイムで働いている」(18.1%)となっている。

性別にみると、男性で「働いていない」(54.3%)の割合が高く、女性ではフルタイム、パートタイムで働いている割合が、男性に比べ高くなっている。

要介護度別にみると、要支援1、要支援2、要介護2では「働いていない」の割合が他に比べて低い。

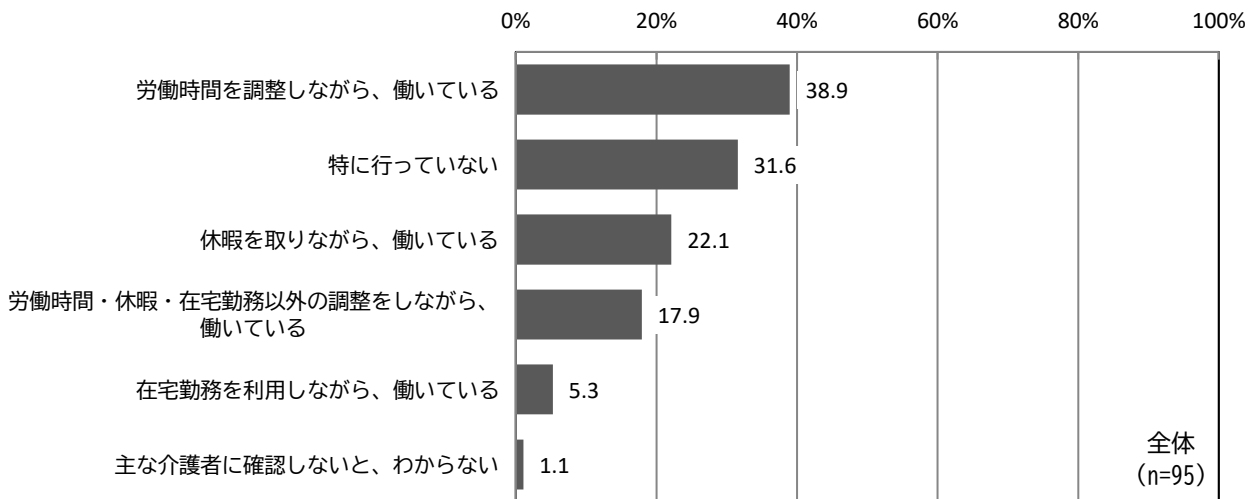
家族・親族からの介護の頻度別にみると、頻度が高いほど「働いていない」の割合が高い。

図表 - 67 性別、年齢別、要介護度別、家族・親族からの介護の頻度別、主な介護者別  
主な介護者の勤務形態 (%)

		調査数「人」	フルタイムで働いている	パートタイムで働いている	働いていない	主な介護者に確認しない、からないわ	無回答
全体		232	22.8	18.1	45.7	0.9	12.5
性別	男性	70	17.1	12.9	54.3	-	15.7
	女性	132	27.3	22.7	36.4	0.8	12.9
	無回答	30	16.7	10.0	66.7	3.3	3.3
年齢別	65歳未満	1	100.0	-	-	-	-
	65～69歳	7	14.3	42.9	28.6	-	14.3
	70～74歳	16	12.5	37.5	37.5	-	12.5
	75～79歳	24	20.8	29.2	37.5	-	12.5
	80～84歳	38	28.9	7.9	47.4	-	15.8
	85～89歳	58	29.3	19.0	36.2	-	15.5
	90歳以上	58	19.0	15.5	51.7	1.7	12.1
	無回答	30	16.7	10.0	66.7	3.3	3.3
要介護度別	要支援1	22	36.4	4.5	31.8	-	27.3
	要支援2	20	15.0	25.0	30.0	5.0	25.0
	要介護1	43	23.3	16.3	51.2	-	9.3
	要介護2	47	31.9	27.7	29.8	-	10.6
	要介護3	41	19.5	17.1	51.2	-	12.2
	要介護4	12	25.0	33.3	41.7	-	-
	要介護5	7	-	14.3	57.1	-	28.6
	無回答	10	10.0	10.0	70.0	-	10.0
家族・親族からの介護の頻度別	ない	0	-	-	-	-	-
	週に1日よりも少ない	13	23.1	30.8	15.4	7.7	23.1
	週に1～2日ある	42	31.0	7.1	26.2	-	35.7
	週に3～4日ある	18	11.1	33.3	44.4	-	11.1
	ほぼ毎日ある	159	22.0	18.2	53.5	0.6	5.7
	無回答	0	-	-	-	-	-
主な介護者別	配偶者	75	5.3	5.3	80.0	-	9.3
	子	116	27.6	26.7	30.2	1.7	13.8
	子の配偶者	29	44.8	20.7	24.1	-	10.3
	孫	2	50.0	-	-	-	50.0
	兄弟・姉妹	6	-	16.7	66.7	-	16.7
	その他	4	75.0	-	-	-	25.0
	無回答	0	-	-	-	-	-

## (2) 働き方の調整等の有無

図表 - 68



働き方の調整等の有無では、「労働時間を調整しながら、働いている」(38.9%)が最も多く、次いで「特に行っていない」(31.6%)、「休暇を取りながら、働いている」(22.1%)、「労働時間・休暇・在宅勤務以外の調整をしながら、働いている」(17.9%)、「在宅勤務を利用しながら、働いている」(5.3%)となっている。



働き方の調整等の有無を性別にみると、女性に比べ男性では「特に行っていない」(38.1%)の割合が高く、女性では「休暇を取りながら、働いている」(24.2%)、「労働時間・休暇・在宅勤務以外の調整をしながら、働いている」(22.7%)の割合が高い。

年齢別にみると、80～89歳で「労働時間を調整しながら、働いている」の割合が高い。

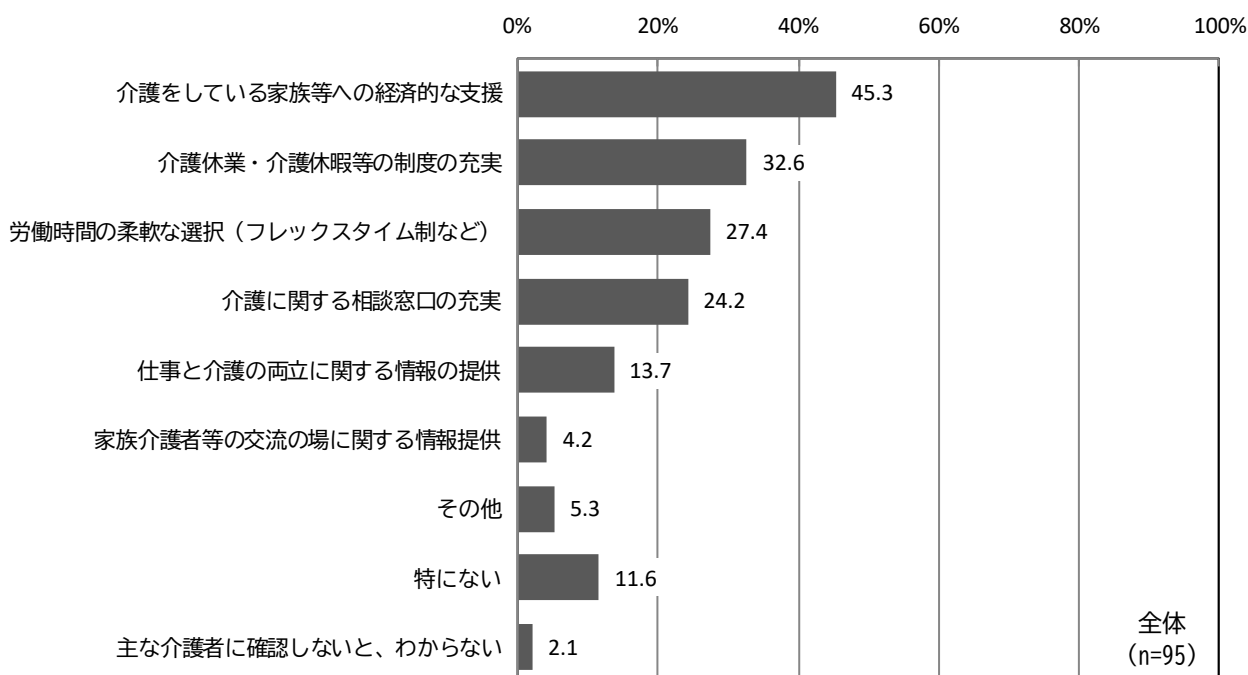
要介護度別にみると、要支援1では「特に行っていない」の割合が高く、要介護2以上では「労働時間を調整しながら、働いている」の割合が高くなっている。

図表 - 69 性別、年齢別、要介護度別、主な介護者別、介護者の勤務形態別  
働き方の調整等の有無(%)

		調査数「人」	特に行っていない	労働時間を調整しながら、働いている	休暇を取りながら、働いている	在宅勤務を利用しながら、働いている	労働時間・休暇・在宅勤務以外の調整をしながら、働いている	主な介護者に確認しないと、わからない
全体		232	31.6	38.9	22.1	5.3	17.9	1.1
性別	男性	70	38.1	38.1	14.3	4.8	9.5	-
	女性	132	28.8	37.9	24.2	4.5	22.7	1.5
	無回答	30	37.5	50.0	25.0	12.5	-	-
年齢別	65歳未満	1	-	-	100.0	-	-	-
	65～69歳	7	25.0	50.0	-	-	25.0	-
	70～74歳	16	25.0	12.5	25.0	-	37.5	-
	75～79歳	24	33.3	33.3	16.7	8.3	8.3	8.3
	80～84歳	38	28.6	42.9	14.3	-	21.4	-
	85～89歳	58	25.0	53.6	21.4	7.1	21.4	-
	90歳以上	58	45.0	25.0	30.0	5.0	15.0	-
	無回答	30	37.5	50.0	25.0	12.5	-	-
要介護度別	要支援1	22	77.8	11.1	-	-	11.1	-
	要支援2	20	37.5	25.0	37.5	-	25.0	-
	要介護1	43	29.4	23.5	17.6	5.9	29.4	-
	要介護2	47	25.0	53.6	25.0	10.7	14.3	-
	要介護3	41	20.0	40.0	26.7	-	20.0	6.7
	要介護4	12	14.3	57.1	14.3	-	28.6	-
	要介護5	7	-	100.0	-	-	-	-
	無回答	10	50.0	-	50.0	-	-	-
介護者の勤務形態別	フルタイムで働いている	53	37.7	35.8	20.8	1.9	17.0	-
	パートタイムで働いている	42	23.8	42.9	23.8	9.5	19.0	2.4
	働いていない	0	-	-	-	-	-	-
	主な介護者に確認しないと、わからない	0	-	-	-	-	-	-
	無回答	0	-	-	-	-	-	-

### (3) 仕事と介護の両立に効果があると思う勤務先からの支援

図表 - 70



仕事と介護の両立に効果があると思う勤務先からの支援では、「介護をしている家族等への経済的な支援」(45.3%)が最も多く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」(32.6%)、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」(27.4%)、「介護に関する相談窓口の充実」(24.2%)となっている。また、「特になし」が11.6%となっている。

性別にみると、男性では「介護をしている家族等への経済的な支援」(52.4%)、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」(47.6%)、女性では「介護をしている家族等への経済的な支援」(40.9%)で割合が高い。

年齢別にみると、年齢が若いほど「介護をしている家族等への経済的な支援」の割合が高い傾向がある。

要介護度別にみると、要支援2、要介護1で「介護をしている家族等への経済的な支援」の割合が高い。

主な介護者別にみると、配偶者、子、兄弟・姉妹では「介護をしている家族等への経済的な支援」の割合が他に比べて高い。

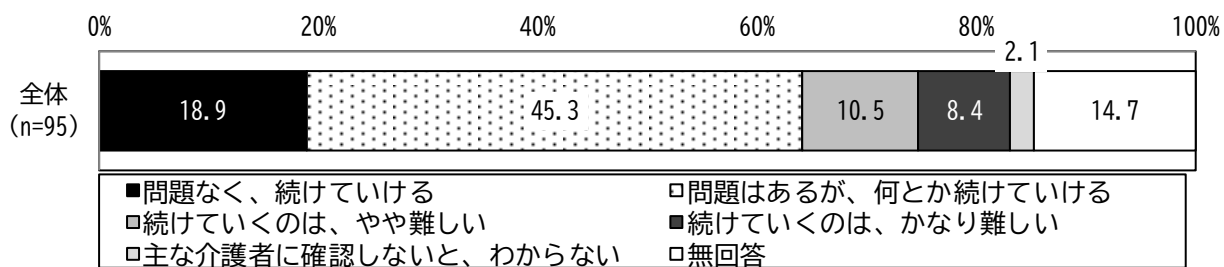
今後の介護継続意向別にみると、続けていくのは『難しい（やや難しい+かなり難しい）』と考える場合では、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」、「介護をしている家族等への経済的な支援」の割合が高くなっている。

図表 - 71 性別、年齢別、要介護度別、主な介護者別、今後の介護継続意向別  
仕事と介護の両立に効果があると思う勤務先からの支援(%)

		調査数「人」	介護休業・介護休暇等の制度の充実の	労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	家族介護者等の交流の場に関する情報提供	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護に関する相談窓口の充実	介護をしている家族等への経済的な支援	その他	特にない	主な介護者に確認しないと、わからない
全体		95	32.6	27.4	4.2	13.7	24.2	45.3	5.3	11.6	2.1
性別	男性	21	47.6	33.3	9.5	14.3	14.3	52.4	-	14.3	-
	女性	66	25.8	25.8	1.5	13.6	24.2	40.9	7.6	12.1	3.0
	無回答	8	50.0	25.0	12.5	12.5	50.0	62.5	-	-	-
年齢別	65歳未満	1	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-	-
	65～69歳	4	25.0	25.0	-	-	-	50.0	-	25.0	-
	70～74歳	8	37.5	12.5	12.5	12.5	12.5	50.0	-	25.0	-
	75～79歳	12	25.0	8.3	8.3	16.7	33.3	50.0	8.3	-	-
	80～84歳	14	14.3	21.4	7.1	-	28.6	35.7	7.1	14.3	7.1
	85～89歳	28	35.7	35.7	-	14.3	21.4	46.4	7.1	10.7	-
	90歳以上	20	35.0	40.0	-	25.0	20.0	-	5.0	15.0	5.0
	無回答	8	50.0	25.0	12.5	12.5	50.0	-	-	-	-
要介護度別	要支援1	9	22.2	-	11.1	-	11.1	44.4	11.1	33.3	-
	要支援2	8	25.0	25.0	-	12.5	25.0	50.0	-	25.0	12.5
	要介護1	17	35.3	23.5	-	5.9	41.2	52.9	5.9	5.9	5.9
	要介護2	28	32.1	39.3	7.1	14.3	14.3	39.3	7.1	10.7	-
	要介護3	15	46.7	33.3	-	26.7	13.3	46.7	6.7	6.7	-
	要介護4	7	14.3	14.3	-	28.6	28.6	28.6	-	-	-
	要介護5	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	2	-	-	-	-	50.0	-	-	50.0	-
主な介護者別	配偶者	8	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	50.0	-	12.5	-
	子	63	36.5	31.7	3.2	15.9	27.0	49.2	3.2	9.5	3.2
	子の配偶者	19	26.3	15.8	5.3	10.5	26.3	31.6	10.5	21.1	-
	孫	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	兄弟・姉妹	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-
	その他	3	33.3	33.3	-	-	-	33.3	33.3	-	-
無回答	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
今後の介護継続意向別	問題なく、続けていける	18	22.2	16.7	5.6	11.1	27.8	22.2	-	16.7	5.6
	問題はあるが、何とか続けていける	43	39.5	30.2	4.7	11.6	25.6	58.1	7.0	11.6	-
	続けていくのは、やや難しい	10	70.0	50.0	-	20.0	30.0	50.0	10.0	-	-
	続けていくのは、かなり難しい	8	25.0	62.5	-	12.5	12.5	62.5	-	-	-
	主な介護者に確認しないと、わからない	2	-	-	-	-	-	50.0	-	-	50.0
	無回答	14	7.1	-	7.1	21.4	21.4	21.4	7.1	21.4	-

(4) 今後の介護継続意向

図表 - 72



主な介護者が今後も働きながら介護を継続できるかたずねたところ、「問題はあるが、何とか続けていける」(45.3%) が最も多く、次いで「問題なく、続けていける」(18.9%)、「続けていくのは、やや難しい」(10.5%)、「続けていくのは、かなり難しい」(8.4%) となっている。

この結果、今後も働きながら介護を続けていくことが『難しい』(「続けていくのは、やや難しい」+「続けていくのは、かなり難しい」と考える人の割合は18.9%を占める。

今後の介護継続意向を性別にみると、男性（42.9%）女性（48.5%）ともに「問題はあるが、何とか続けていける」が最も割合が高くなっている。

年齢別にみると、75歳以上の年齢層から『難しい』（「続けていくのは、やや難しい」+「続けていくのは、かなり難しい」）との回答がみられる。

要介護度別にみると、要介護1から重度化するほど『難しい』（「続けていくのは、やや難しい」+「続けていくのは、かなり難しい」）割合が高い傾向にある。

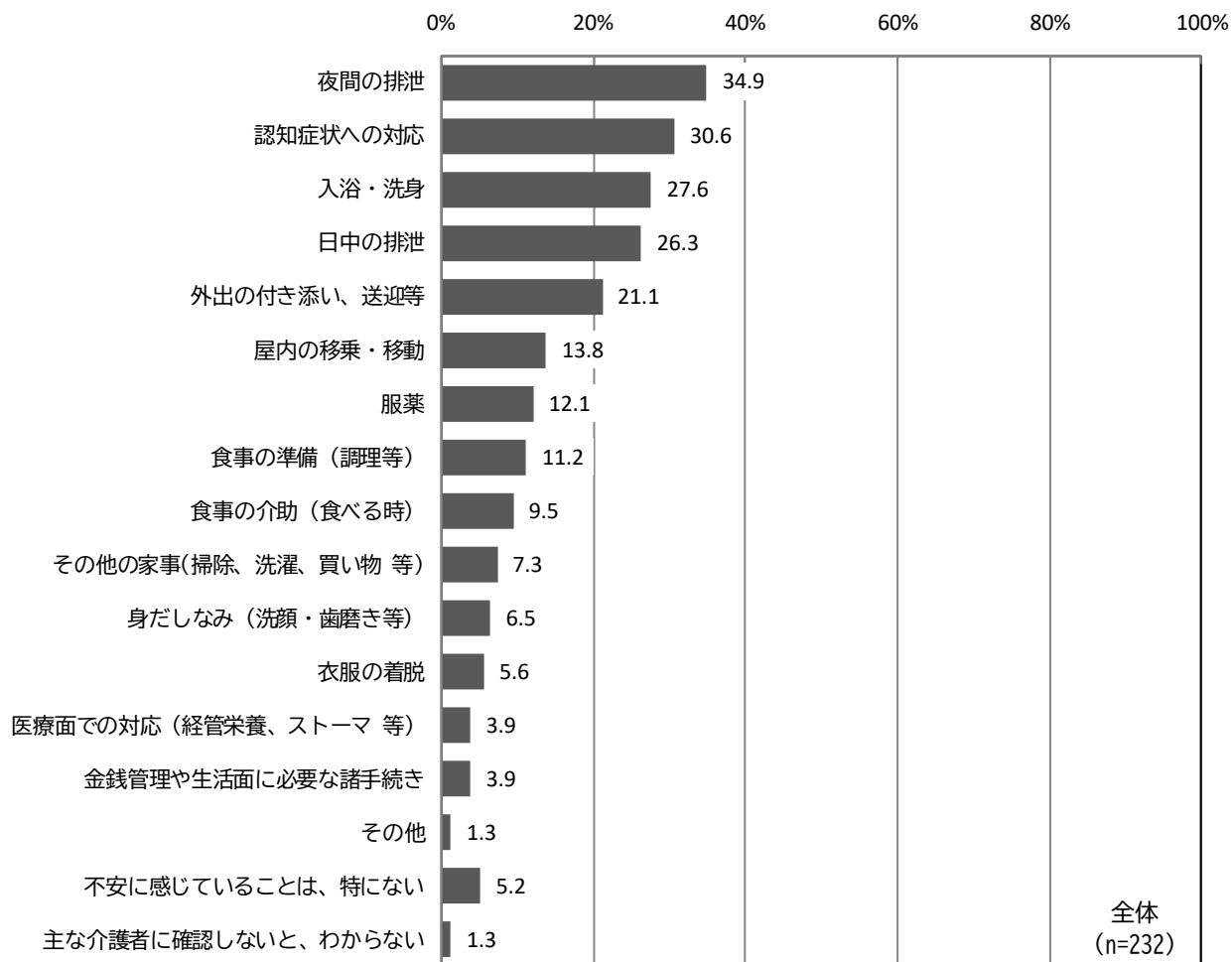
主な介護者別にみると、子で『難しい』（「続けていくのは、やや難しい」+「続けていくのは、かなり難しい」）の回答が多い。

図表 - 73 性別、年齢別、要介護度別、主な介護者別  
今後の介護継続意向（%）

		調査数「人」	問題なく、 続けていける	問題はあるが、 何とか続けていける	続けていくのは、 やや難しい	続けていくのは、 かなり難しい	主な介護者に確認しないと、 からないわ	無回答
全体		95	18.9	45.3	10.5	8.4	2.1	14.7
性別	男性	21	9.5	42.9	23.8	-	-	23.8
	女性	66	19.7	48.5	7.6	9.1	3.0	12.1
	無回答	8	37.5	25.0	-	25.0	-	12.5
年齢別	65歳未満	1	-	100.0	-	-	-	-
	65～69歳	4	-	50.0	-	25.0	-	25.0
	70～74歳	8	12.5	50.0	-	-	-	37.5
	75～79歳	12	25.0	33.3	16.7	8.3	-	16.7
	80～84歳	14	28.6	50.0	-	21.4	-	-
	85～89歳	28	21.4	50.0	17.9	-	3.6	7.1
	90歳以上	20	5.0	45.0	15.0	5.0	5.0	25.0
	無回答	8	37.5	25.0	-	25.0	-	12.5
要介護度別	要支援1	9	22.2	66.7	-	-	-	11.1
	要支援2	8	12.5	75.0	-	-	12.5	-
	要介護1	17	41.2	41.2	11.8	-	-	5.9
	要介護2	28	10.7	39.3	14.3	10.7	3.6	21.4
	要介護3	15	6.7	40.0	26.7	-	-	26.7
	要介護4	7	14.3	57.1	-	28.6	-	-
	要介護5	1	-	-	-	100.0	-	-
	無回答	2	-	50.0	-	-	-	50.0
主な介護者別	配偶者	8	12.5	50.0	-	-	-	37.5
	子	63	20.6	42.9	14.3	7.9	1.6	12.7
	子の配偶者	19	21.1	57.9	-	5.3	-	15.8
	孫	1	-	-	100.0	-	-	-
	兄弟・姉妹	1	-	-	-	100.0	-	-
	その他	3	-	33.3	-	33.3	33.3	-
	無回答	0	-	-	-	-	-	-

(5) 主な介護者が不安に感じる介護

図表 - 74



主な介護者が不安に感じる介護では、「夜間の排泄」（34.9%）が最も多く、次いで「認知症状への対応」（30.6%）、「入浴・洗身」（27.6%）、「日中の排泄」（26.3%）、「外出の付き添い、送迎等」（21.1%）となっている。

主な介護者が不安に感じる介護を性別にみると、男性は多くの項目で女性を上回っている。

年齢別にみると、90歳以上で、「夜間の排泄」の割合が高くなっている。

要介護度別にみると、日中・夜間の排泄では、要介護3から5で割合が高くなっている。

主な介護者別では、配偶者では「夜間の排泄」、子の配偶者では「夜間の排泄」「入浴・洗身」の割合が、他に比べ高い。

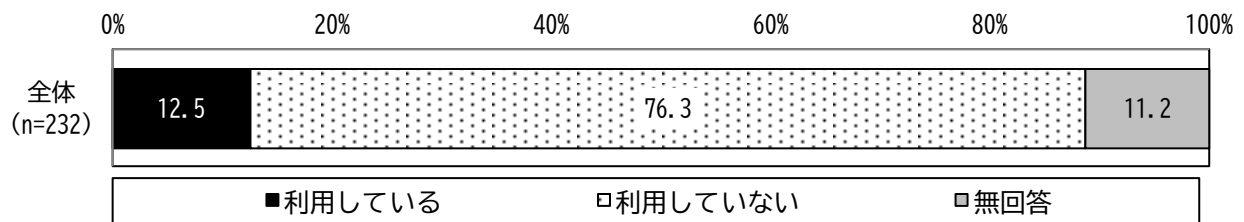
今後の介護継続意向別では、続けていくのは難しいと考える場合、「日中の排泄」、「夜間の排泄」の割合が高くなっている。

図表 - 75 性別、年齢別、要介護度別、主な介護者別、今後の介護継続意向別  
主な介護者が不安に感じる介護 (%)

	調査数「人」	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応	医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	食事の準備(調理等)	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることは、特にない	主な介護者と、わからない	
全体	232	26.3	34.9	9.5	27.6	6.5	5.6	13.8	21.1	12.1	30.6	3.9	11.2	7.3	3.9	1.3	5.2	1.3	
性別	男性	70	31.4	37.1	11.4	28.6	10.0	12.9	14.3	24.3	8.6	31.4	1.4	8.6	4.3	2.9	-	5.7	1.4
	女性	132	22.7	33.3	9.8	26.5	5.3	3.0	12.9	15.2	10.6	30.3	2.3	12.9	8.3	5.3	2.3	5.3	1.5
	無回答	30	30.0	36.7	3.3	30.0	3.3	-	16.7	40.0	26.7	30.0	16.7	10.0	10.0	-	-	3.3	-
年齢別	65歳未満	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	65~69歳	7	28.6	42.9	14.3	14.3	-	14.3	42.9	42.9	14.3	14.3	-	14.3	-	14.3	-	14.3	-
	70~74歳	16	12.5	12.5	12.5	18.8	12.5	6.3	12.5	25.0	6.3	6.3	-	12.5	12.5	18.8	-	12.5	-
	75~79歳	24	29.2	20.8	4.2	41.7	4.2	8.3	-	25.0	16.7	20.8	-	8.3	4.2	-	-	8.3	4.2
	80~84歳	38	15.8	23.7	13.2	13.2	5.3	2.6	21.1	10.5	21.1	39.5	-	13.2	10.5	7.9	-	5.3	2.6
	85~89歳	58	25.9	39.7	6.9	32.8	10.3	6.9	8.6	13.8	6.9	41.4	1.7	13.8	5.2	-	1.7	3.4	-
	90歳以上	58	34.5	48.3	13.8	29.3	5.2	-	13.8	20.7	3.4	27.6	5.2	8.6	6.9	3.4	3.4	3.4	1.7
無回答	30	30.0	36.7	3.3	30.0	3.3	-	16.7	40.0	26.7	30.0	16.7	10.0	10.0	-	-	3.3	-	
要介護度別	要支援1	22	13.6	13.6	4.5	9.1	4.5	4.5	13.6	18.2	22.7	27.3	-	13.6	13.6	-	4.5	13.6	-
	要支援2	20	10.0	5.0	-	25.0	5.0	-	10.0	20.0	5.0	10.0	-	15.0	15.0	5.0	-	15.0	-
	要介護1	43	4.7	16.3	11.6	20.9	11.6	7.0	14.0	23.3	14.0	30.2	2.3	16.3	4.7	7.0	-	4.7	7.0
	要介護2	47	19.1	38.3	6.4	36.2	4.3	6.4	10.6	23.4	14.9	44.7	2.1	14.9	10.6	4.3	-	2.1	-
	要介護3	41	51.2	53.7	9.8	34.1	4.9	7.3	24.4	12.2	-	26.8	2.4	7.3	2.4	4.9	2.4	2.4	-
	要介護4	12	58.3	83.3	16.7	25.0	8.3	8.3	-	-	-	50.0	-	-	-	8.3	-	-	-
	要介護5	7	42.9	57.1	42.9	14.3	14.3	-	14.3	28.6	14.3	14.3	-	-	-	-	-	14.3	-
	無回答	10	50.0	50.0	30.0	40.0	10.0	-	-	10.0	-	20.0	10.0	-	-	-	10.0	-	-
主な介護者別	配偶者	75	30.7	32.0	12.0	29.3	5.3	9.3	13.3	28.0	12.0	30.7	2.7	13.3	8.0	4.0	-	8.0	-
	子	116	25.0	37.9	7.8	25.9	8.6	4.3	12.9	18.1	12.1	31.0	5.2	10.3	8.6	4.3	0.9	3.4	2.6
	子の配偶者	29	27.6	41.4	10.3	37.9	3.4	3.4	20.7	24.1	10.3	27.6	-	3.4	3.4	3.4	-	3.4	-
	孫	2	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-	50.0	-	-	50.0	-	-
	兄弟・姉妹	6	16.7	16.7	16.7	16.7	-	-	16.7	-	-	-	-	16.7	-	-	16.7	16.7	-
	その他	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-
	無回答	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
今後の介護継続意向別	問題なく、続けていける	18	11.1	22.2	5.6	16.7	5.6	5.6	27.8	22.2	16.7	38.9	5.6	5.6	5.6	5.6	-	-	11.1
	問題はあるが、何とか続けていける	43	27.9	34.9	4.7	34.9	9.3	7.0	14.0	23.3	18.6	37.2	-	11.6	11.6	4.7	-	4.7	-
	続けていくのは、やや難しい	10	40.0	40.0	10.0	50.0	20.0	-	-	-	10.0	40.0	-	10.0	-	-	-	-	10.0
	続けていくのは、かなり難しい	8	75.0	75.0	12.5	25.0	12.5	-	12.5	-	25.0	50.0	12.5	-	-	-	-	-	-
	主な介護者に確認しないと、わからない	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-
無回答	14	21.4	28.6	14.3	21.4	-	7.1	21.4	35.7	7.1	28.6	7.1	7.1	-	21.4	-	7.1	-	

## (6) 訪問診療の利用状況

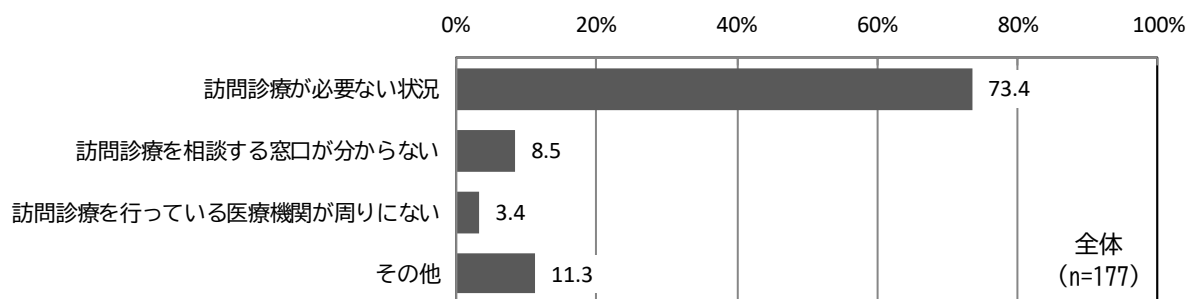
図表 - 76



訪問診療の利用状況では、「利用していない」(76.3%)が最も多く、次いで「利用している」(12.5%)となっている。

## (7) 訪問診療を利用していない理由

図表 - 77

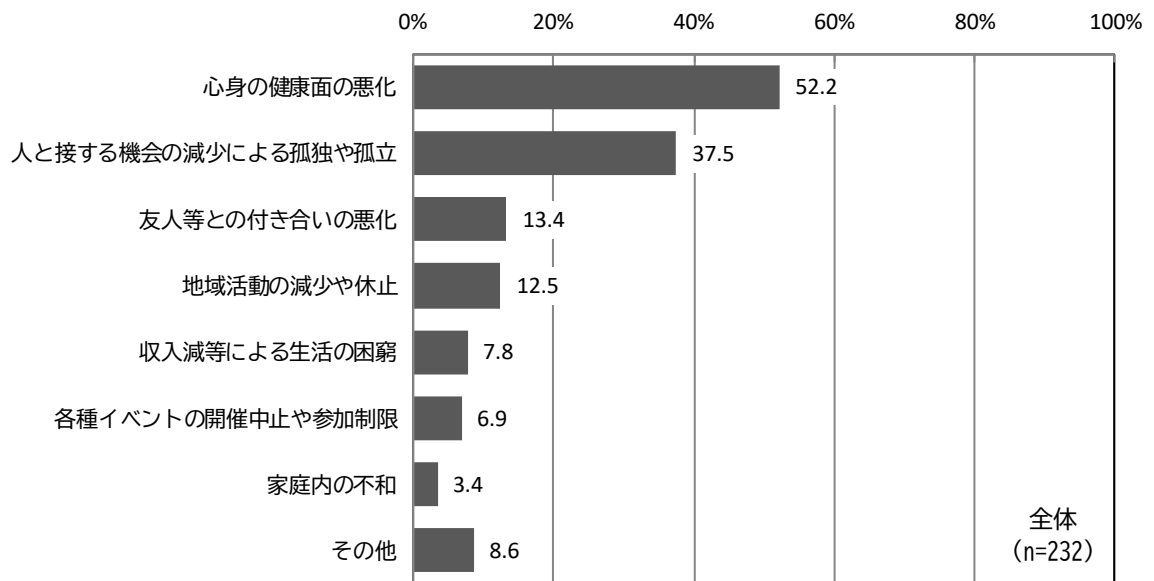


訪問診療を利用していない理由では、「訪問診療が必要ない状況」(73.4%)が最も多く、次いで「訪問診療を相談する窓口がわからない」(8.5%)、「訪問診療を行っている医療機関が周りにない」(3.4%)となっている。



(8) コロナ禍の生活で心配なこと

図表 - 78



コロナ禍の生活で心配なことでは、「心身の健康面の悪化」(52.2%)が最も多く、次いで「人と接する機会の減少による孤独や孤立」(37.5%)、「友人等との付き合いの悪化」(13.4%)、「地域活動の減少や休止」(12.5%)、「収入減等による生活の困窮」(7.8%)となっている。

コロナ禍の生活で心配なことを性別にみると、男性で「心身の健康面の悪化」(62.9%)の割合が女性と比較して高くなっている。

年齢別にみると、どの年代も「心身の健康面の悪化」の割合が高い。

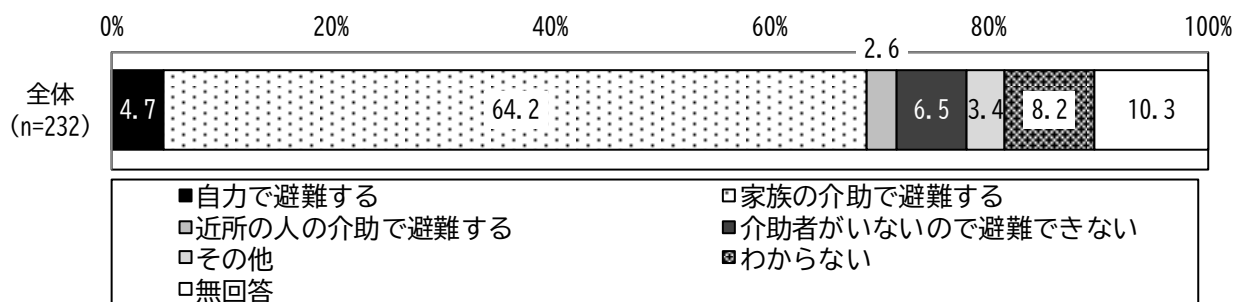
要介護度別にみると、要介護4では「人と接する機会の減少による孤独や孤立」の割合が高くなっている。

図表 - 79 性別、年齢別、要介護度別 コロナ禍の生活で心配なこと (%)

		調査数「人」	心身の健康面の悪化	人と接する機会の減少や孤立による孤独や孤立	地域活動の減少や休止	各種イベントや参加制限	家庭内の不和	友人等との付き合いの悪化	収入減等による生活の窮困	その他
全体		232	52.2	37.5	12.5	6.9	3.4	13.4	7.8	8.6
性別	男性	70	62.9	32.9	10.0	5.7	5.7	10.0	5.7	5.7
	女性	132	45.5	39.4	14.4	9.1	2.3	15.2	7.6	9.8
	無回答	30	56.7	40.0	10.0	-	3.3	13.3	13.3	10.0
年齢別	65歳未満	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	65～69歳	7	71.4	14.3	-	-	14.3	28.6	14.3	14.3
	70～74歳	16	68.8	37.5	12.5	12.5	6.3	25.0	12.5	-
	75～79歳	24	33.3	33.3	8.3	-	4.2	8.3	8.3	8.3
	80～84歳	38	50.0	44.7	21.1	10.5	-	15.8	5.3	7.9
	85～89歳	58	51.7	32.8	12.1	6.9	3.4	13.8	6.9	10.3
	90歳以上	58	53.4	41.4	12.1	10.3	3.4	-	5.2	6.9
	無回答	30	56.7	40.0	10.0	-	3.3	-	13.3	10.0
要介護度別	要支援1	22	40.9	27.3	9.1	4.5	-	9.1	13.6	9.1
	要支援2	20	30.0	40.0	10.0	15.0	-	15.0	-	5.0
	要介護1	43	46.5	37.2	16.3	9.3	-	2.3	2.3	14.0
	要介護2	47	59.6	44.7	21.3	4.3	6.4	25.5	14.9	-
	要介護3	41	56.1	31.7	12.2	12.2	4.9	17.1	2.4	4.9
	要介護4	12	58.3	75.0	-	8.3	16.7	8.3	-	8.3
	要介護5	7	71.4	28.6	-	-	-	-	14.3	28.6
	無回答	10	60.0	-	-	-	-	-	10.0	30.0

(9) 災害が起きた場合の避難方法

図表 - 80



災害が起きた場合の避難方法では、「家族の介助で避難する」(64.2%)が最も多く、次いで「わからない」(8.2%)、「介助者がいないので避難できない」(6.5%)、「自力で避難する」(4.7%)、「その他」(3.4%)、「近所の人々の介助で避難する」(2.6%)となっている。

性別にみると、いずれも「家族の介助で避難する」が高い割合を占めているが、男性の「介助者がいないので避難できない」（10.0%）の割合が女性に比べ高くなっている。

年齢別にみると、「家族の介助で避難する」の割合は、70歳以上で年齢とともに高くなっている。

要介護度別にみると、要支援に比べ要介護の場合「家族の介助で避難する」の割合が高くなる。また、要介護2と要介護5では「介助者がいないので避難できない」の割合が、1割を占めている。

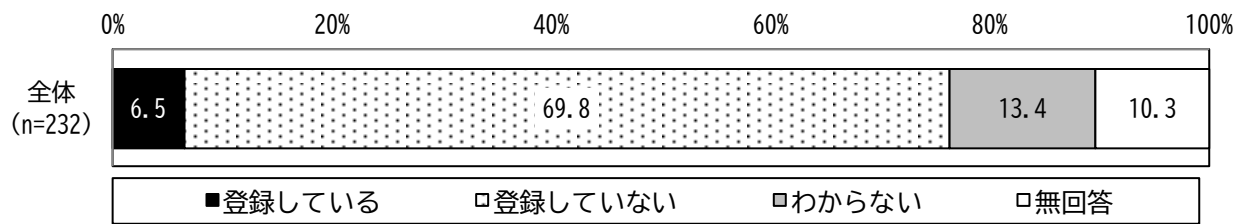
主な介護者別にみると、いずれも「家族の介助で避難する」の割合が高い。

図表 - 81 性別、年齢別、要介護度別、主な介護者別、主な介護者の年齢別  
災害が起きた場合の避難方法（%）

		調査数「一人」	自力で避難する	家族の介助で避難する	近所の人の介助で避難する	介助者がいないので避難できない	その他	わからない	無回答
全体		232	4.7	64.2	2.6	6.5	3.4	8.2	10.3
性別	男性	70	2.9	64.3	2.9	10.0	5.7	5.7	8.6
	女性	132	3.0	66.7	1.5	5.3	2.3	8.3	12.9
	無回答	30	16.7	53.3	6.7	3.3	3.3	13.3	3.3
年齢別	65歳未満	1	-	100.0	-	-	-	-	-
	65～69歳	7	-	100.0	-	-	-	-	-
	70～74歳	16	6.3	50.0	-	6.3	6.3	12.5	18.8
	75～79歳	24	-	58.3	-	12.5	-	8.3	20.8
	80～84歳	38	5.3	60.5	2.6	13.2	2.6	5.3	10.5
	85～89歳	58	3.4	63.8	5.2	3.4	3.4	8.6	12.1
	90歳以上	58	1.7	74.1	-	5.2	5.2	6.9	6.9
	無回答	30	16.7	53.3	6.7	3.3	3.3	13.3	3.3
要介護度別	要支援1	22	9.1	54.5	-	9.1	-	4.5	22.7
	要支援2	20	-	55.0	5.0	5.0	10.0	-	25.0
	要介護1	43	2.3	67.4	-	2.3	4.7	11.6	11.6
	要介護2	47	2.1	68.1	2.1	10.6	2.1	8.5	6.4
	要介護3	41	2.4	68.3	4.9	4.9	2.4	9.8	7.3
	要介護4	12	-	75.0	-	8.3	-	8.3	8.3
	要介護5	7	-	71.4	-	14.3	14.3	-	-
	無回答	10	10.0	70.0	-	10.0	-	-	10.0
主な介護者別	配偶者	75	5.3	66.7	2.7	9.3	8.0	5.3	2.7
	子	116	5.2	60.3	3.4	4.3	1.7	12.9	12.1
	子の配偶者	29	-	79.3	-	3.4	-	-	17.2
	孫	2	-	50.0	-	50.0	-	-	-
	兄弟・姉妹	6	-	66.7	-	-	-	-	33.3
	その他	4	25.0	25.0	-	25.0	-	-	25.0
	無回答	0	-	-	-	-	-	-	-
主な介護者の年齢別	20歳未満	0	-	-	-	-	-	-	-
	20代	3	-	100.0	-	-	-	-	-
	30代	2	-	100.0	-	-	-	-	-
	40代	21	4.8	57.1	-	9.5	-	14.3	14.3
	50代	49	6.1	55.1	4.1	6.1	-	12.2	16.3
	60代	64	4.7	62.5	3.1	4.7	1.6	9.4	14.1
	70代	39	2.6	71.8	2.6	7.7	5.1	5.1	5.1
	80歳以上	52	5.8	67.3	1.9	7.7	9.6	3.8	3.8
	わからない	0	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	2	-	100.0	-	-	-	-	-

(10) 「避難行動要支援者名簿」の登録状況

図表 - 82



「避難行動要支援者名簿」の登録状況では、「登録していない」(69.8%)が最も多く、次いで「わからない」(13.4%)、「登録している」(6.5%)となっている。

「避難行動要支援者名簿」の登録状況を性別にみると、いずれも「登録していない」が7割近くを占めているが、男性では「登録している」割合が11.4%と、女性の3.8%と比べ高くなっている。

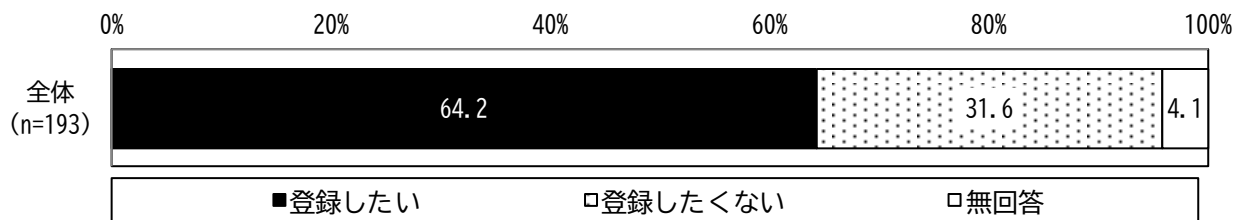
要介護度別にみると、要介護4・5で「登録していない」の割合が高い。(登録は要介護3以上から可能)

図表 - 83 性別、年齢別、要介護度別、主な介護者別、主な介護者の年齢別  
「避難行動要支援者名簿」の登録状況 (%)

		調査数「人」	登録している	登録していない	わからない	無回答
全体		232	6.5	69.8	13.4	10.3
性別	男性	70	11.4	70.0	8.6	10.0
	女性	132	3.8	67.4	16.7	12.1
	無回答	30	6.7	80.0	10.0	3.3
年齢別	65歳未満	1	-	-	100.0	-
	65～69歳	7	-	85.7	14.3	-
	70～74歳	16	6.3	68.8	6.3	18.8
	75～79歳	24	8.3	54.2	12.5	25.0
	80～84歳	38	5.3	71.1	10.5	13.2
	85～89歳	58	5.2	70.7	15.5	8.6
	90歳以上	58	8.6	69.0	15.5	6.9
	無回答	30	6.7	80.0	10.0	3.3
要介護度別	要支援1	22	9.1	59.1	9.1	22.7
	要支援2	20	15.0	45.0	15.0	25.0
	要介護1	43	2.3	74.4	11.6	11.6
	要介護2	47	4.3	74.5	12.8	8.5
	要介護3	41	7.3	65.9	22.0	4.9
	要介護4	12	-	75.0	16.7	8.3
	要介護5	7	-	85.7	14.3	-
	無回答	10	20.0	70.0	-	10.0
	主な介護者別	配偶者	75	8.0	78.7	9.3
子		116	5.2	66.4	17.2	11.2
子の配偶者		29	6.9	65.5	10.3	17.2
孫		2	-	100.0	-	-
兄弟・姉妹		6	16.7	50.0	-	33.3
その他		4	-	50.0	25.0	25.0
無回答		0	-	-	-	-
主な介護者の年齢別	20歳未満	0	-	-	-	-
	20代	3	-	66.7	33.3	-
	30代	2	-	50.0	50.0	-
	40代	21	-	76.2	9.5	14.3
	50代	49	8.2	61.2	16.3	14.3
	60代	64	3.1	68.8	14.1	14.1
	70代	39	12.8	69.2	12.8	5.1
	80歳以上	52	7.7	78.8	9.6	3.8
	わからない	0	-	-	-	-
無回答	2	-	50.0	-	50.0	

(11) 「避難行動要支援者名簿」への登録希望

図表 - 84



今後の「避難行動要支援者名簿」への登録希望では、「登録したい」(64.2%)が最も多く、次いで「登録したくない」(31.6%)となっている。

性別にみると、「登録したい」では、女性に比べ男性の割合が高い。

年齢別にみると、65～69歳、90歳以上を除き、「登録したい」の割合が6割から8割を占める。

要介護度別にみると、要支援2、要介護2・3では、「登録したい」の割合が高くなっている。

主な介護者別にみると、子の配偶者では「登録したくない」の割合が高くなっている。

主な介護者の年齢別では、いずれも「登録したい」が半数を超えている。

図表 - 85 性別、年齢別、要介護度別、主な介護者別、主な介護者の年齢別  
「避難行動要支援者名簿」への登録希望（％）

		調査数 「人」	登録 したい	登録 したくない	無 回答
全体		193	64.2	31.6	4.1
性別	男性	55	69.1	27.3	3.6
	女性	111	62.2	34.2	3.6
	無回答	27	63.0	29.6	7.4
年齢別	65歳未満	1	100.0	-	-
	65～69歳	7	42.9	42.9	14.3
	70～74歳	12	83.3	16.7	-
	75～79歳	16	81.3	12.5	6.3
	80～84歳	31	64.5	35.5	-
	85～89歳	50	72.0	22.0	6.0
	90歳以上	49	49.0	49.0	2.0
	無回答	27	63.0	29.6	7.4
要介護度別	要支援1	15	46.7	53.3	-
	要支援2	12	75.0	25.0	-
	要介護1	37	51.4	45.9	2.7
	要介護2	41	75.6	17.1	7.3
	要介護3	36	77.8	19.4	2.8
	要介護4	11	54.5	45.5	-
	要介護5	7	42.9	42.9	14.3
	無回答	7	57.1	42.9	-
主な介護者別	配偶者	66	65.2	31.8	3.0
	子	97	68.0	26.8	5.2
	子の配偶者	22	40.9	54.5	4.5
	孫	2	100.0	-	-
	兄弟・姉妹	3	66.7	33.3	-
	その他	3	66.7	33.3	-
	無回答	0	-	-	-
主な介護者の年齢別	20歳未満	0	-	-	-
	20代	3	100.0	-	-
	30代	2	50.0	-	50.0
	40代	18	66.7	27.8	5.6
	50代	38	73.7	21.1	5.3
	60代	53	56.6	39.6	3.8
	70代	32	62.5	34.4	3.1
	80歳以上	46	65.2	32.6	2.2
	わからない	0	-	-	-
	無回答	1	-	100.0	-



### 第3章 調査結果の考察

#### ○主な介護者の状況について

- ・主な介護者の年齢は60歳以上が7割近く（66.8%）を占め、そのうち70歳代は2割近く（16.8%）、80歳以上が2割以上（22.4%）を占めている。

主な介護者の年齢層では60歳以上の割合が高く、今後老老介護の進行が懸念される。

#### ○在宅介護の継続と施設入所の検討について

- ・対象者の介護を主な理由として、過去1年間の間に仕事を辞めた家族・親族がいる人の割合は、全体の1割以上（10.3%）を占める。
- ・施設等への入所・入居の検討状況をみると、年齢別70歳以上からは「入所・入居を検討している」、「すでに入所・入居申し込みをしている」での回答がみられる。また要介護別では要介護4で「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合が、他に比べ高くなっている。
- ・主な介護者が在宅生活の継続に向けて不安を感じる介護の内容は、夜間の排出、認知症状への対応の割合が高い。これを要介護度別にみると、夜間の排出では要介護2から5の重度層で割合が高くなっている。
- ・在宅生活の継続に必要な支援・サービスについて、「外出同行（通院、買い物など）」、「移送サービス」、「見守り・声かけ」などのニーズが高くなっている。

施設入所等の対応を検討する人の割合は、比較的高い年齢層で高くなる傾向にあり、要介護度別では要介護4で「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合が高い。また、在宅介護の継続に向けて不安を感じる内容では、夜間の排出、に続き認知症状への対応の割合が高い。

外出に係る支援・サービスは、「買い物」や「サロンへの参加」など、他の支援・サービスとの関係も深いことから、「外出に係る支援・サービスの充実」は大きな課題であるといえる。また、孤独死などが社会問題となっている中、独居高齢者が安心して生活できるよう、地域で見守りや声かけを行うことができる仕組みづくりが必要である。

これらのことから、在宅生活の継続と介護者の就労の継続のためには、在宅生活を支える多様な介護サービスの展開と、適切なケアマネジメントによる適切な介護サービスの選択・利用、さらには認知症予防・認知症ケアなどの取組みを併せて、要介護者の重度化を防止するとともに、日常生活の支援体制の整備をすすめ、高齢化する介護者の不安や負担を軽減する取組みが必要であると考えられる。

一方で、要支援・要介護の認定を受ける以前に活動していた社会的な活動について再開したいと回答した方が一定数いるなど、いったん要支援・要介護状態になっても、当事者が社会的役割を意識して、心身機能をできるだけ維持・改善する取組みを促進する取組みや、社会的な役割を担い活躍できる場づくりなどが重要になってくると考えられる。

## ○介護者の就労継続支援について

- ・主な介護者の現在の勤務形態では、「フルタイム」が22.8%、「パートタイム」が18.1%を占め、これを合わせた40.9%の方が就労している状況である。
- ・現在就労している主な介護者の働き方について、全体の7割程度が介護をするにあたり何らかの調整等を行っており、その内容としては「労働時間を調整しながら働いている」(38.9%)、「休暇を取りながら働いている」(22.1%)「労働時間・休暇・在宅勤務以外の調整をしながら働いている」(17.9%)、などが挙げられている。
- ・仕事と介護の両立に効果があると思う勤務先からの支援では、「経済的な支援」(45.3%)、「介護休業・介護休暇等の充実」(32.6%)、「労働時間の柔軟な選択」(27.4%)、「介護に関する相談窓口の充実」(24.2%)などが挙げられている。
- ・今後の介護の継続意向では、『続けていける』(「問題なく続けていける」+「問題はあるが何とか続けていける」)が64.2%を占め、『難しい』(「続けていくのは、やや難しい」+「続けていくのは、かなり難しい」)が18.9%を占める。

現在就労している主な介護者の大半は、今後も働きながら介護を続けていけるとしているが、全体の18.9%ほどは「難しい」と回答している。今後も、在宅介護と就労の両立を支援していくためには、職場での労働時間の調整・柔軟な選択や介護休業・介護休暇等の制度の充実など、官民一体となった取組みをすすめるとともに、必要に応じて介護者への経済的な支援を検討するなどして、在宅生活継続の可能性が高めていく必要がある。

## ○要介護者の避難行動について

- ・在宅要介護者が、大規模災害時にどのように避難所へ向かうか質問した結果「家族の介助で避難する」(64.2%)との回答が最も多かった。
- ・現在の在宅要介護者本人の避難行動要支援者名簿の登録状況では、「登録していない」(69.8%)が7割を占める。
- ・今後の避難行動要支援者名簿への登録意向は、「登録したい」(64.2%)が6割以上を占める。

在宅要介護者が大規模災害時に避難所へ向かう手段としては、家族の介助で非難するとの回答が最も多く、家族が就労などで家にいない場合などの避難行動について懸念される。また、どのように非難するかわからない、避難できないと回答した方が一定の割合で存在している現状が分かった。

こうした方々に対し、地域の協力により要支援者の避難を行うための仕組みである「避難行動要支援者名簿」への登録であるが、現状の登録状況は低い。

一方で、未登録者の今後の登録に対する意向は高いことから、現状ではこの「避難行動要支援者名簿」に関する認知度が低いために登録者数が少ないものと推察される。

近年、様々な自然災害が頻発する中、避難行動要支援者名簿の登録をはじめとして、在宅で介護を受ける方の災害時の対応について検討が必要である。

# 久留米市在宅介護実態調査報告書

令和5年3月

発行：久留米市 健康福祉部 介護保険課

〒830-8520

福岡県久留米市城南町1-5番地3

TEL：0942-30-9036

FAX：0942-36-6845